

「みらい」高まる たかねぞわ」の実現へ向けて

# 高根沢町地域経営計画2016

## 後期計画(2021▶2025)

令和4年度 進捗管理調書



# 目次

## 第1 後期計画の構成について

---

1	後期計画 KPI 一覧表	2
2	後期計画の構成表	4

## 第2 基本目標及び各施策の検証について

---

政策分野1	子ども・教育・生涯学習分野	6
政策分野2	健康・サポート分野	12
政策分野3	魅力・活力分野	18
政策分野4	環境・社会基盤分野	23
政策分野5	安全・安心分野	29
政策分野6	マネジメント分野	33

# 第1 後期計画の構成について

# 第1 1 後期計画のKPIについて

## ■ 成果目標一覧

分野／基本目標	指標	実績値 (令和4年度)	目標値 (目標年度)
<b>1 子ども・教育・生涯学習分野</b>			
<b>基本目標</b>			
1-1 「安心して産み、子育てができるまち」をつくる	1 産科医療施設の開設	0施設	1施設(令和7年度)
	2 ファミリーサポートセンターの会員数	143人	170人(令和7年度)
	3 本町で子育てしたいと思う親の割合	93.8%	100%(令和7年度)
	4 年度当初の待機児童数	0人	0人(令和7年度)
1-2 「未来を創る子どもたち」を育てる	1 全国学力・学習状況調査の平均正答率	町⇔全国平均 小6国語 66.5%⇔65.6% 小6算数 65.7%⇔63.2% 中3国語 70.5%⇔69.0% 中3数学 50.1%⇔51.4%	全国平均を上回る (令和7年度)
	2 子どもたちの学ぶ意欲「学習に自ら進んで取り組んでいる子」の割合	町⇔県平均 小4 79.1%⇔73.4% 小5 79.5%⇔76.1% 中2 69.6%⇔72.3%	県平均を上回る (令和7年度)
	3 運動習慣調査における「運動好きな子」の割合	町⇔全国平均 小5男 88.2%⇔92.4% 女 82.0%⇔85.9% 中2男 83.9%⇔88.9% 女 77.9%⇔77.3%	全国平均を上回る (令和7年度)
	4 学習支援事業を利用している不登校児童生徒の割合	38.03%	100%(令和7年度)
1-3 「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する	1 町民一人あたりの図書貸出冊数の県内順位	1位	1位(令和7年度)
	2 生涯続けられる趣味や学びたいことを持っている人の割合	83%	令和3年度調査結果(未実施)から上昇(令和7年度)
	3 文化財に関する子ども向けホームページの整備率	45%	100%(令和7年度)
	4 ラジオ体操を取り入れたイベント等の実施回数	5回	10回(令和7年度)
	5 婚姻率の県内順位	2位(令和3年度)	1位(令和7年度)
<b>2 健康・サポート分野</b>			
2-1 「高齢者がいきいきと暮らせる社会」をつくる	1 通いの場の数	2箇所	4か所(令和7年度)
	2 元気あつぷポイント登録者数	452人	1,000人(令和7年度)
	3 元気はつらつ運動教室参加者数	1,329人	3,500人(令和7年度)
	4 認知症サポーター数	2,418人	3,500人(令和7年度)
	5 生活援助従事者研修の受講者数	14人	30人(令和7年度)
	6 地域密着型特別養護老人ホームの数	1施設	2施設(令和7年度)
2-2 「自立と支えあいの共生社会」をつくる	1 障がい児者サポーターの数	14人増/年 (延べ67人)	年間100人増加(令和7年度)
	2 障害者優先調達実績額	1,016千円	1,500千円(令和7年度)
	3 災害時要支援登録者の数	566人	令和元年度実績497人から増加(令和7年度)
	4 ゲートキーパーの認知度	22.1%	20%(令和7年度)
2-3 「健康寿命が長いまち」をつくる	1 健康寿命	男性:79.09 女性:84.37 (令和元年度)	平成28年度実績値(男:80.03, 女83.78)より延伸(令和4年度)
	2 健康ポイント登録者数	17名	250名(令和7年度)
	3 自分が健康であると思う人の割合	81.0%	90%(令和7年度)
	4 新型インフルエンザ等対策行動計画	未改定	改定(令和4年度)

分野／基本目標	指標	実績値 (令和4年度)	目標値 (目標年度)
<b>3 魅力・活力分野</b>			
<b>基本目標</b>			
3-1 「活力ある農業」を振興する	1 実質化された「人・農地プラン」の実現（地域数）	0	16（令和7年度）
	2 環境保全型農業の取組面積	47.0	75.0ha（令和7年度）
	3 とちぎの星の作付面積	494ha	630ha（令和7年度）
3-2 「魅力的なまち」をつくる	1 マニー（株）進出予定地における操業年度	－	操業開始（令和6年度）
	2 町内における創業者数	4人/年	8人/年 （令和2～7年度平均）
	3 イベント等の開催数	7回/年	8回/年（令和7年度）
	4 道の駅たかねざわ 元気あつむら施設来場者数	397,449人	450,000人（令和7年度）
3-3 「情報がつながる環境」をつくる	1 新たな町の情報発信媒体の数	7	5（令和7年度）
	2 町ウェブサイトへのアクセス数	310,125件	500,000件（令和7年度）
	3 町の休日滞在人口【RESAS】	52,329人	58,000人（令和7年度）
<b>4 環境・社会基盤分野</b>			
4-1 「魅力ある住環境」をつくる	1 道路網整備計画に基づく道路整備済み延長	1,963m	2,393m（令和7年度）
	2 整備済み都市公園の数	16箇所	17箇所（令和7年度）
	3 雨水浸透槽の点検・清掃箇所数	15箇所/年	15箇所/年（令和7年度）
	4 点検を行った橋梁の数	延べ386橋 （2巡目 4/5年目）	延べ519橋（3巡目） （令和7年度）
	5 デマンドバス「たんたん号」の利用者数	前年比1,696人/年増加 （延べ41,842人）	前年比365人/年増加 （令和7年度）
4-2 「水の安定した供給・循環」を支える	1 水道管の耐震化率	75.95%	80%（令和7年度）
	2 市街化区域公共下水道整備率	84.69%	100%（令和7年度）
	3 下水道使用料の見直し	実施	実施（令和7年度）
4-3 「環境に配慮したしくみ」をつくる	1 可燃ごみの排出量（家庭系・事業系合計）	5,890 t/年	5,700 t/年（令和7年度）
	2 容器包装プラスチック回収量（拠点・ステーション合計）	68 t/年	60 t/年（令和7年度）
	3 まち美化パートナーの登録数	24団体・887人	25団体・1,500人（令和7年度）
	4 自然環境基礎調査	未実施	追跡調査実施（令和6・7年度）
<b>5 安全・安心分野</b>			
5-1 災害から「生命」を守る	1 マイ・タイムライン受講者数	1,931人	延べ3,370人（令和7年度）
	2 地区防災計画策定数	1地区	11地区（令和7年度）
	3 災害時応援協定の締結数	28件	38件（令和7年度）
	4 防災・防犯メールの登録者数	2,585人	3,300人（令和7年度）
5-2 「安全に暮らせるまち」をつくる	1 防災・防犯メールの登録者数（再掲）	2,585人	3,300人（令和7年度）
	2 運転免許証自主返納者数、後付け急発進等抑制装置設置の支援数（合算数）	29件/年	30件/年（令和7年度）
	3 消費生活出前講座の実施回数（オンライン開催含む）	4回/年	20回/年（令和7年度）
<b>6 マネジメント分野</b>			
6-1 「持続可能な行政経営」を実現する	1 他団体派遣研修及び市町アカデミー研修の参加人数	5人/年	5人/年（令和7年度）
	2 電子決裁の導入	導入	導入（令和7年度）
	3 マイナンバーカードを利用したコンビニ交付割合（住民票・印鑑証明・税証明（R3.10月から））	21.8%	40%（令和7年度）
6-2 「公共施設のマネジメント」を推進する	1 公共施設等総合管理計画個別計画の策定	未策定	策定（令和5年度）
	2 役場新庁舎整備基本構想の策定	策定	策定（令和4年度）

## 第1 2 後期計画の構成表

町を取り巻く社会経済環境や住民意識の変化を踏まえた上で、5年後、更にその先の将来を見据えた長期的な展望に立ち、町がこれからやるべきことを「6つの政策分野」と「16の基本目標」としています。

政策分野 ～ ターゲット ～	基本目標
1 子ども・教育・ 生涯学習分野 ～ 子育てが楽しい ～	1-1 「安心して産み、子育てができるまち」 をつくる 1-2 「未来を創る子どもたち」を育てる 1-3 「生涯学習・文化・スポーツ」 を振興する
2 健康・サポート分野 ～ いきいきと暮らす ～	2-1 「高齢者がいきいきと暮らせる社会」 をつくる 2-2 「自立と支えあいの共生社会」をつくる 2-3 「健康寿命が長いまち」をつくる
3 魅力・活力分野 ～ 魅力・活力を生みだす ～	3-1 「活力ある農業」を振興する 3-2 「魅力的なまち」をつくる 3-3 「情報がつながる環境」をつくる
4 環境・社会基盤分野 ～ 快適に暮らす ～	4-1 「魅力ある住環境」をつくる 4-2 「水の安定した供給・循環」を支える 4-3 「環境に配慮したしくみ」をつくる
5 安全・安心分野 ～ 安全・安心に暮らす ～	5-1 災害から「生命」を守る 5-2 「安全に暮らせるまち」をつくる
6 マネジメント分野 ～ このまちで生きていく ～	6-1 「持続可能な行政経営」を実現する 6-2 「公共施設のマネジメント」を推進する

## 第2 基本目標及び各施策の検証について

地域経営計画体系

基本目標	1	1
------	---	---

分野	子ども・教育・生涯学習
基本目標	「安心して産み、子育てができるまち」をつくる

担当課	健康福祉課 こどもみらい課
-----	------------------

各施策展開

施策 1 安心して産み、子育てできる応援体制の充実

令和4年度実績 (Do)
<b>産科誘致補助事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットを関係機関へ送付するのに加えて、令和4年度は新たに、「妊産婦健診及び乳児健康診査」を取り扱う県内51の産婦人科医に送付した。</li> <li>年間を通した営業活動として、主に金融機関に協力を依頼し、医療法人や医療コンサルタント等に対する本事業の周知を図り、情報交換を実施した。</li> <li>産科医師の処遇改善に向けた働きかけとして、政策懇談会において要望した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種取組を実施してきたが、現在まで、具体的な問合せは寄せられていない状況である。根本的な課題として、少子化に加え、産科医師の負担の増大が、開設への道筋をより一層困難にしている状況が推測される。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>処遇（報酬改定や就労環境改善など）について、町単独で改善していくことは困難であるが、町内に産科がなく不便を感じている方がいることから、国への働きかけを含め、粘り強く、町としてできる活動を継続していく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>産科誘致補助事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、金融機関等との情報交換を軸としながら誘致活動を行う。アプローチについては金融機関等からの改善提案なども聞きながら、広範囲にPRすることに拘らず、何か一つでもきっかけが掴めそうなことがあればそれに集中して活動していく等、柔軟に取り組んでいく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
産科医療施設の開設（施設）	1	0	0				0%

施策 2 子育て相談体制と情報発信力の強化

令和4年度実績 (Do)
<b>子育て支援センターれんげそう事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度から子育て支援センターれんげそうのInstagramの本格運用を開始し、当初は59名のフォロワーが現在192名に増加した。現在の投稿数は184件。</li> </ul>
<b>ファミリーサポートセンター事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリーサポートセンター：（提供会員19名、利用会員117名、両方会員7名）</li> <li>地域の中で子育てに協力して育児のサポートをしてくれる提供会員の方の協力により、利用会員が安心して子育てが行えるような体制を整えている。提供会員が少ない現状ではあるが、困った時にスムーズに対応できるよう常に状況把握を行っている。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センターは、子育てに関する不安や悩みなどを持った母親等に寄り添い不安の軽減に努める場としての一助を担っている。また、子どもの成長発達に合わせた独自の事業も実施しており、地域の中での、子育て支援センターの役割は大きい。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する情報発信を行なっているが、利用者の大幅な増加には繋がりにくい現状である。今後、共通アプリを活用し、利用者目線での情報発信が行えるよう工夫していくことが必要。また、ファミリーサポートセンターの相互支援が活発に行えるよう普及に努めることも課題である。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>出産・子育て家庭への伴走型相談支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに必要な情報が必要な方に届けられるよう母子手帳アプリを導入する。</li> </ul>
<b>子育て支援センターれんげそう事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きSNSを活用して子育て情報を発信していく。</li> </ul>
<b>ファミリーサポートセンター事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ファミリーサポートセンターの事業内容について、より多くの方に知ってもらえるよう周知を図るとともに、子育てが一段落したような方にも協力が得られるような仕組みづくりについて検討していく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
ファミリーサポートセンターの会員数（人）	170	124	143				84%

基本目標	1	1
------	---	---

分野	子ども・教育・生涯学習
基本目標	「安心して産み、子育てができるまち」をつくる

担当課	健康福祉課
	こどもみらい課

各施策展開

施策 2 子育て相談体制と情報発信力の強化

令和4年度実績 (Do)
<b>産前産後サポート事業、育児支援事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「NIKO♡NIKO子育て相談室」において妊娠届時より一人ひとりに寄り添った相談を実施した。産前産後にサポートが得られない方や不安のある方に対しては必要時産後ケアの利用を紹介した。妊娠期から子育て中の保護者の育児不安を解消し、安心して楽しく育児できるよう切れ目ない相談窓口としての機能を強化した。</li> <li>産後院宿泊利用者5名13泊（※令和3年度：11名22泊）</li> <li>日帰り利用者9名21回（※令和3年度10名16回）</li> <li>産後ヘルパー利用者実績0名（※令和3年度2名）</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度との比較で減になっているサービスはあるものの、コロナ禍での特殊事情（事業者側の感染症対策、利用者側の利用控え等）が影響したものと考えられ、実態としては、サービスを必要とする人への紹介、提供はできた。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業全体で見ると、生活サポート事業（ヘルパー派遣）よりも産後ケア事業（産後院利用や、助産師による訪問事業（アウトリーチ））のニーズが増えていることから、今後は産後ケアに重点を置き事業を進めていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>産前産後サポート事業、育児支援事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、妊娠期からの出会いを大切に一人ひとりに寄り添った支援を行う。</li> <li>産後ケアについては利用施設を増やし（2か所⇒7か所）、必要な方が利用しやすい体制を整備していく。</li> <li>産前のサポート「Niko♡Nikoルーム」に加え、産後4か月までの産婦・乳児を対象に「Niko♡Nikoサロン」を開催し、子育ての悩みや不安解消の場、親子の交流の場として、安心して楽しく子育てできるようさらなる事業の充実に取り組んでいく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
本町で子育てしたいと思う親の割合 (%)	100	95.6	93.8				94%

施策 3 幼児期教育・保育ニーズへの対応

令和4年度実績 (Do)
<b>ひまわり保育園整備事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4～5年度の継続事業として「ひまわり保育園」（認可定員110名⇒120名）の整備補助を実施し、令和5年3月に工事を着工した。</li> </ul>
<b>家庭的保育事業等認可</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模保育施設（A型：認可定員12名）「おとぎのおうち保育園」を認可し、令和5年4月に宝石台三丁目に開所した。</li> </ul>
<b>たから保育園学童クラブ整備事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>阿久津小学校、西小学校の児童が対象の「たから学童クラブ」の整備補助を実施し、定員40名の学童クラブが令和5年3月25日に開所した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>0歳～1歳児の入園希望者が多くなっている現状を鑑みると、ひまわり保育園の整備及びおとぎのおうち保育園の開所により園児の受け入れ態勢を整えることに繋がった。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学童クラブについては、利用定員を超えているクラブもあり、今後は、新規開所したクラブとの利用人数の調整を行い、児童が安全に利用できるようにすることが必要である。</li> <li>乳児期の保育ニーズに応じた支援体制を整えていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>ひまわり保育園整備事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4～5年度の継続事業として「ひまわり保育園」の整備補助を実施する。（令和6年3月完成予定。）</li> </ul>
<b>特別保育事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「おとぎのおうち保育園」の園舎は、賃貸物件により老朽化しているため、改修の補助を実施する。</li> <li>現在阿久津小学校や西小学校等の児童42名が利用している国の基準を満たしていない陽だまり学童の整備を検討していく。</li> <li>保護者、保育士の負担軽減のため、保育施設等に対するおむつ処分費用等を補助する。</li> </ul>
<b>一時保育拡大事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>公立保育園2園の一時保育の預かり開始年齢を生後6か月から生後2か月に拡大する。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
年度当初の待機児童数 (人)	0	0	0				100%

基本目標	1	2
------	---	---

分野	子ども・教育・生涯学習
基本目標	「未来を創る子どもたち」を育てる

担当課	学校教育課
-----	-------

各施策展開

施策 1 生きる力の育成 施策 1-1 確かな学力の育成 (ICT教育・英語教育の推進)

令和4年度実績 (Do)
<b>英語力向上推進事業・ICT教育推進事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校にALT (外国語指導助手) を5名 (小学校2名・中学校3名)、小学校にJTE (日本人英語指導者) を2名配置し、学級担任及び英語専科教員2名を中心とするチーム指導体制により授業を実施した。</li> <li>・児童生徒1人1台のタブレットを使用して各教科における教師用デジタル教材や一部導入された児童生徒用デジタル教科書の活用を図るとともに、小中一貫教育情報教育部会において教員のICT指導力向上のための研修等を実施した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導において、それぞれの強み・メリットを生かしたチーム指導体制を構築し、効果的な授業が実践できた。</li> <li>・各教科等の学習において、デジタル教材等の使用により児童生徒1人1台のタブレットを効果的に活用したICT教育を実施した。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導のチーム指導体制を更に活用してより効果的な指導方法の工夫に取り組む必要がある。</li> <li>・一部導入された児童生徒用デジタル教科書の更なる活用を図るとともに、教員のICT指導力向上に引き続き取り組む必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>英語力向上推進事業・ICT教育推進事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT (外国語指導助手)、JTE (日本人英語指導者)、英語専科教員による英語指導のチーム体制が、更に効果的になるよう指導方法の工夫や見直しに取り組んでいく。また、ALTの指導力の向上や準化を図るため、相互授業参観等の研修を実施していく。</li> <li>・各教科の指導においてタブレットやデジタル教材等が更に効果的に活用されるよう、教員のICT指導力向上に引き続き取り組んでいく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 4 質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
全国学力・学習状況調査の平均正答率 (%)	全国平均を上回る	小6国↑ 小6算↑ 中3国↑ 中3数↑	小6国↑ 小6算↑ 中3国↑ 中3数↓				

施策 1 生きる力の育成 施策 1-2 学ぶ意欲と自己肯定感・自己有用感の育成

令和4年度実績 (Do)
<b>キャリア教育事業・児童生徒多様性支援事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートの活用を図りながら、小学校6年生のキャリアインタレストテスト、中学校2年生のマイチャレンジ事業等により、キャリア教育を実施した。</li> <li>・hyper-QU (学校満足度テスト) を年2回 (6月・11月) 実施し、調査結果を学級経営の改善や児童生徒指導に活用した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育やキャリアパスポートの活用等により、発達段階に応じた系統的・連続的なキャリア教育を実施した。</li> <li>・hyper-QUの1回目の分析結果を効果的に活用して、2回目調査では全ての学年において全国平均より望ましい結果とすることができた。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育における多様性、社会性、連続性等を更に充実させていく必要がある。</li> <li>・hyper-QU (学校満足度テスト) 分析結果の効果的活用について、指導者の情報共有や知見の蓄積を充実させていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>キャリア教育事業・児童生徒多様性支援事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育やhyper-QU (学校満足度テスト) 等の取組を、児童生徒の自己実現や自己肯定感・自己有用感の育成につなげていくため、小中一貫教育専門部会等において、県学力コーディネーター、町学力向上推進リーダー、学習指導主任等が連携して対応・対策を講じるにより、授業改善や学級経営・児童指導に効果的に活用していきけるよう取り組んでいく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 4 質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
子どもたちの学ぶ意欲「学習に自ら取り組んでいる子」の割合 (%)	県平均を上回る	小4 ↑ 小5 ↑ 中2 ↓	小4 ↑ 小5 ↑ 中2 ↓				

基本目標	1	2
------	---	---

分野	子ども・教育・生涯学習
基本目標	「未来を創る子どもたち」を育てる

担当課	学校教育課
-----	-------

各施策展開

施策 1 生きる力の育成 施策 1-3 健やかな体の育成

令和4年度実績 (Do)
<b>健康な体づくり事業・学校給食事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年生・2年生、中学校1年生を対象に、体を動かす楽しさや心地よさを体感させる「運動遊びプログラム」を計43回実施した。また、教員（体育主任）を対象に、実技指導等を通じて指導力向上を図る研修会を2回実施した。</li> <li>・学校給食の食材として地場産農産物等を使用し、学校給食を通じた食育を実施した。（令和4年度の地場産品活用率（金額ベース）は99.05%で、県内1位（県教委による6月・11月の計10日間の調査結果））</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動遊びプログラム」により、運動好きになるきっかけづくりや、運動習慣の動機付けにつなげる活動を推進した。</li> <li>・学校給食に地場産品を積極的に使用するとともに、無農薬の町産コシヒカリでの米飯を通じて食育を推進した。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動のきっかけづくりを、運動の習慣化につなげていく必要がある。</li> <li>・各課横断的に様々な取組や工夫を通して食育を進めていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>健康な体づくり事業・学校給食事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動遊びプログラム」が、継続的な運動習慣につながるよう、活動や効果の波及等を図って「運動好きな児童生徒」の割合を増やしていく。</li> <li>・天皇陛下の皇位継承に伴う「大嘗祭」において使用された高根沢町産「とちぎの星」を学校給食に提供し、古くから米どころであることの利点を生かして食育を進めていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 4 質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
運動習慣調査における「運動好きな子」の割合 (%)	全国平均を上回る	小5男↓ 小5女↑ 中2男↓ 中2女↑	小5男↓ 小5女↓ 中2男↓ 中2女↑				

施策 2 安心して学習できる環境づくりの推進

令和4年度実績 (Do)
<b>児童生徒多様性支援事業・ひよこの家運営事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町独自に配置するSC（スクールカウンセラー：4名）、SSW（スクールソーシャルワーカー：1名）が、児童生徒、保護者、教職員への相談支援を実施した。</li> <li>・不登校児童生徒が心と体を休める「居場所」として「フリースペースひよこの家」を運営した。（通級生21名：3月時点）</li> <li>・家庭訪問による学習支援及び相談支援を合わせて行う「家庭訪問型学習支援事業」を、不登校児童生徒9名（小学生3名、中学生6名）に対して実施した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SC、SSWの活用等を通じて「フリースペースひよこの家」に通級する児童生徒一人一人の特性に応じた個別支援を実施した。</li> <li>・「家庭訪問型学習支援事業」により、不登校児童生徒の学びの機会を確保するとともに、細やかな相談支援を行った。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援や学びの機会に関するニーズの把握や事業周知を更に進める必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>児童生徒多様性支援事業・ひよこの家運営事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰一人取り残すことのないよう、全ての児童生徒が等しく学ぶ機会を提供していくため、事業周知を様々な手段で進めるとともに、SC、SSWの相談支援等を通じて、事業の利用や更なる支援につなげていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 4 質の高い教育をみんなに 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
学習支援事業を利用している不登校児童生徒の割合 (%)	100	43.75	38.03				38%

基本目標	1	3
------	---	---

分野	子ども・教育・生涯学習
基本目標	「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する

担当課	生涯学習課
-----	-------

各施策展開

施策 1 身近で学べる生涯学習環境の充実

令和4年度実績 (Do)

**図書館「学習・情報センター」事業**

- ・各年代に応じた生涯学習を充実させるため、図書館を「学習・情報センター」として情報発信機能の強化をし、パソコンやタブレット端末・スマートフォンでアクセスできる電子図書館のシステムづくりを進めた。
- ・図書館では、学校、地域との連携を図り、乳幼児から大人まで本に親しむ環境が充実しており、町民一人あたりの図書貸出冊数は県内1位を継続することができた。
- ・『第二期 高根沢町子ども読書活動推進計画』に基づき、町図書館で「高根沢町家読おすすめ本」リーフレットを作成し、町内小中学校、幼稚園・保育園に配布した。また、町民の10代以上の方々に生涯学習アンケートを実施したところ、「生涯続けられる趣味や学びたいこと」の項目について、全体の83%の回答者が「ある」と答えた。

担当課長評価 (Check・Act)

**全体評価**

- ・指定管理者に図書館の管理・運営を委託し、運営の効率化を図るとともに、町民が利用しやすいようなサービスの充実に努めてきた。その結果、町民一人あたりの図書貸出冊数は県内1位を継続することができた。また、図書館を「学習・情報センター」として機能することで、町民のニーズを把握し、趣味や学びにつながるような本以外の情報についても、多様な方法で情報提供することができた。

**改善点**

- ・図書館のサービスが充実する一方で、コロナ禍の影響も考えられるが入館者数、貸出冊数ともに年々減少傾向にある。そこで、今年度は脱コロナ禍に入ったことを機に、図書館に足を向けてもらうための新たな提案を考えたり、「高根沢町子ども読書推進計画」との連携を図ったりしながら、より多くの町民が読書に親しむための環境の整備に取り組む必要がある。

令和5年度計画 (Plan)

**乳幼児から大人まで誰もが読書に親しむことができる推進体制や読書環境の整備事業**

- ・図書館においては、乳幼児における「ブックスタート」「おはなし会や読み聞かせ」「お話コーナーの設置」をより充実させていく。また、小・中学生においては、今年度も「高根沢町家読おすすめ本」のリーフレットを活用したり、おすすめの本を活用した図書イベントや家読スタンプラリーなどを開催したりすることで、読書への関心を高める取組を促進していく。大人においては、電子図書館の充実やホームページを通しての情報発信、イベントの掲載などを周知していく。このように、乳幼児から大人までの計画を実施する中で、図書館としての「学習・情報センター」の機能を最大限に発揮しながら入館者数増加のきっかけをつくっていく。

SDGs 中心となるゴール目標

**4 質の高い教育をみんなに**

全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
町民一人あたりの図書貸出し冊数の県内順位 (位)	1	1	1				
生涯続けられる趣味や学びたいことを持っている人の割合 (%)	令和3年度調査結果から上昇	-	83				-

施策 2 文化・歴史を活用した郷土愛の醸成

令和4年度実績 (Do)

**郷土資源・文化財活用事業**

- ・町の歴史の中で伝えられてきた文化財に関して、子どもたちに受け継いでいくため、「社会科」や「総合的な学習の時間」の授業で活用できるよう、小学生にもわかりやすい表記にした文化財に関するホームページ公開に向けて原稿作成を進めた。
- ・県指定文化財6点および町指定文化財46点について、個々の詳細なデータや説明文についての原稿を作成した。

担当課長評価 (Check・Act)

**全体評価**

- ・小学校の授業で活用できる文化財に関するホームページの作成は、子どもたちの町への郷土愛の醸成に繋がると考える。そのための文化財の原稿を作成し、取り組みを進めることができた。

**改善点**

- ・小学生にもわかりやすいホームページにするため、原稿の添削・不足写真の撮影等が必要である。

令和5年度計画 (Plan)

**郷土資源・文化財活用事業**

- ・ホームページの公開に向けて、システムへの入力・リンク設定・古い写真の撮り直し等の取り組みを進める。また、学校教育課で作成する社会科副読本でのホームページの活用についても併せて検討していく。

SDGs 中心となるゴール目標

**4 質の高い教育をみんなに**

全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
文化財に関する子供向けホームページの整備率 (%)	100	20	45				45%

基本目標	1	3
------	---	---

分野	子ども・教育・生涯学習
基本目標	「生涯学習・文化・スポーツ」を振興する

担当課	生涯学習課
-----	-------

各施策展開

施策 3 スポーツに親しむ機会と環境の創出

<p>令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>体力づくりスポーツ事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人でも取り組むことのできる健康づくりとしてラジオ体操の推進を行った。</li> <li>ウォーキング大会2回、ペタンク・カローリングの出前講座3回の計5回の実施事業において、準備体操にラジオ体操を取り入れ、普及を図った。</li> <li>「ラジオ体操ダイアリー」を使って30日間ラジオ体操を行った方にNIKO・NIKO健康ポイントまたは元気あっぷポイントを付与することで、ラジオ体操を継続的に実施していただけるよう働きかけた。</li> <li>ラジオ体操の動画を募集し、健康づくりのきっかけとなるよう編集したものをホームページにアップした。</li> </ul>	<p>担当課長評価 (Check・Act)</p> <p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操を取り入れた大会や出前講座の参加者は合計で140人であった。ラジオ体操を個々の体力づくり、健康づくりのきっかけとなるよう取り組むことができた。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染対策が緩和され、新規で実施するイベントや再開するイベントにおいても積極的にラジオ体操を取り入れていくことが必要である。</li> </ul>	<p>令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>体力づくりスポーツ事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者まで幅広い年代に広く普及し、町民の心身両面にわたる健康・体力の保持・促進を図っていくため、実施する教室、出前講座、スポーツイベントにおいて可能な限り準備体操としてラジオ体操を実施していく。</li> <li>11月1日の「高根沢町ラジオ体操の日」にちなんでラジオ体操に関するイベントを実施する。</li> <li>引き続き、ラジオ体操ダイアリーによるポイント付与を行い、ラジオ体操を習慣化していただけるよう取り組んでいく。</li> </ul>
---	--	---

<p>SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>4 質の高い教育をみんなに</b></p> <p>全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラジオ体操を取り入れたイベント等の実施回数 (回)</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	ラジオ体操を取り入れたイベント等の実施回数 (回)	10	5	5				50%								
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗																		
ラジオ体操を取り入れたイベント等の実施回数 (回)	10	5	5				50%																		

施策 4 女性が活躍する社会の実現と結婚活動の推進

<p>令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>結婚活動推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子化対策や地域活性化の観点から、高根沢町在住・在勤の男性と県内外から募集した女性との出会いの場を提供し、結婚・定住・永住のきっかけを作るため婚活イベントを実施した。</li> <li>宇都宮大学との「地域プロジェクト演習」パートナー事業(結婚したい人を後押しする取組)を行った。</li> <li>「とちぎ結婚支援センター」紹介チラシ等を作成し、イベントの際に配布した。</li> </ul>	<p>担当課長評価 (Check・Act)</p> <p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍でのイベント開催であったが、男性・女性ともに参加者が多く、カップリングも成立し、結婚を希望する方の一助になった。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮大学「地域プロジェクト演習」パートナー事業での提案を踏まえ、より多くの方に出会いの場を提供できるように取り組む必要がある。</li> </ul>	<p>令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>結婚活動推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度宇都宮大学「地域プロジェクト演習」パートナー事業の報告結果や提案を活用し、イベント内容・スケジュールを検討しながら、1組でも多く結婚・定住・永住に繋がられるよう、出会いの場を創出する婚活イベントを実施する。</li> <li>「とちぎ結婚支援センター」紹介チラシを作成しイベントの際に配布する。</li> </ul>
---	--	---

<p>SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>3 健康と長寿をみんなに</b></p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婚姻率の県内順位 (位)</td> <td>1</td> <td>1 (R2実績)</td> <td>2 (R3実績)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	婚姻率の県内順位 (位)	1	1 (R2実績)	2 (R3実績)												
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗																		
婚姻率の県内順位 (位)	1	1 (R2実績)	2 (R3実績)																						

地域経営計画体系

基本目標	2	1
------	---	---

分野	健康・サポート
基本目標	「高齢者がいきいきと暮らせる社会」をつくる

担当課	健康福祉課
-----	-------

各施策展開

施策 1 高齢者の生きがいがづくりの推進

令和4年度実績 (Do)
<p><b>通いの場づくり事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通いの場を提供し介護予防事業を実施する法人（NPO法人たすけあいエプロン、社会福祉法人光誠会）に対し、介護予防活動に要する経費の一部を補助した。</li> </ul> <p><b>高齢者の生活支援・外出支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>80歳以上の高齢者に対し、たんたん号利用料を無料とした。</li> </ul> <p><b>元気あっぷポイント事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の健康増進、介護予防、社会参加、地域貢献を通じた生きがいがづくりに参加した場合に、商品券等へ交換できるポイントを付与した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で、通いの場事業が低迷していたが、徐々にコロナ前に戻りつつある。外出も増加傾向にあり日常が戻ってきていると感じる。</li> <li>継続的に事業を実施し、維持することが今後の課題と考える。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外出支援事業については、80歳以上の範囲を再度検討し、利用者の利便性を図りたい。元気あっぷポイント事業は、さらなる周知をし登録者を増やしていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>通いの場づくり事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、通いの場を提供し介護予防事業を実施する法人に対し、介護予防活動に要する経費の一部を補助する。</li> </ul> <p><b>高齢者の生活支援・外出支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援を継続していくとともに、より多くの方が外出できるよう現行の年齢制限（80歳以上）について検討していく。</li> </ul> <p><b>元気あっぷポイント事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業を継続していくとともに、高齢者の通いの場等を通して事業の周知に努め、登録者の増加を図っていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
<p>3 持続可能な健康と長寿</p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
通いの場の数 (箇所)	4	2	2				50%
元気あっぷポイント登録者数 (人)	1,000	393	452				45%

施策 2 生涯にわたり健康で活力ある生活の実現

令和4年度実績 (Do)
<p><b>元気はつらつ運動教室</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町内4か所(町内図書館3館、福祉センター)で、健康維持・介護予防のための教室を開催した。</li> </ul> <p><b>生活支援協議体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援コーディネーター(SC)を中心に地域課題の抽出をし、事業を進めている。</li> </ul> <p><b>高齢者配食サービス事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配食事業所3者(社福)恵友会、(株)シニアライフクリエイティブ、ワタミ(株)と委託契約し、日々の食生活に不安のある高齢者に見守りを行いながら事業を実施した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援協議体では地域課題である移動(送迎)に関する課題が提起された。話し合う機会を持つことで、地域課題の洗い出しができた。</li> <li>高齢者配食サービスでは2者から3者に委託先が増え利用者の利便性向上が図られた。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援協議体では地域課題が提起されたが、今後も課題の洗い出し、課題解決への話し合いが必要である。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>元気はつらつ運動教室</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業を継続していくとともに、参加者を増やすため、事業の周知(案内チラシを関係機関に配架、教室開催時に配布等)に努めていく。</li> </ul> <p><b>生活支援協議体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援協議体の実施を今後も継続し、課題への解決方法についても話し合いをしていく。また、新たな課題を見出し、話し合いを実施していく。</li> </ul> <p><b>高齢者配食サービス事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き事業を継続し、高齢者の低栄養防止を図っていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
<p>3 持続可能な健康と長寿</p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
元気はつらつ運動教室参加者数 (人)	3,500	1,050	1,329				38%

基本目標	2	1
------	---	---

分野	健康・サポート
基本目標	「高齢者がいきいきと暮らせる社会」をつくる

担当課	健康福祉課
-----	-------

各施策展開

施策 3 住み慣れた地域で暮らし続ける環境の実現

令和4年度実績 (Do)
<p><b>認知症サポーター養成・ステップアップ講座</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校へ出向き、サポーター養成講座を開催。ステップアップ講座も1回開催した。</li> </ul> <p><b>生活援助従事者研修事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護担い手の育成事業として、受講者に対する研修費を補助した。</li> </ul> <p><b>地域密着型特別養護老人ホーム整備支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備法人を公募したが、応募がなかった。</li> </ul> <p><b>在宅医療・介護連携推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年4回、多職種連携会議を開催し、多様な職種のメンバーと意見交換を実施した。</li> </ul> <p><b>認知症総合支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に、町内グループホーム3か所に認知症の相談窓口（常設型）を設置した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者一人一人が住み慣れた地域において安心して生活できるよう、認知症施策として、認知症グループホームにおける伴走型支援事業（認知症相談窓口の設置）を開始した。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伴走型支援事業については、事業を継続して実施していくために、関係者との話し合いを行いながら随時見直しを進め実施していく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>認知症サポーター養成・ステップアップ講座</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、サポーター養成講座、ステップアップ講座を開催する。</li> </ul> <p><b>生活援助従事者研修事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、介護担い手の育成事業として受講者に対する研修費を補助する。</li> </ul> <p><b>地域密着型特別養護老人ホーム整備支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備法人の募集を引き続き実施していく。募集状況を見ながら、別の手法についても検討していく。</li> </ul> <p><b>在宅医療・介護連携推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わたしのことノート（エンディングノート）を活用しながら、医療や介護などの支援が包括的に受けられる体制づくり強化していく。</li> </ul> <p><b>認知症総合支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、町内グループホーム3か所にて、認知症の相談窓口業務を実施する。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
<p><b>3</b> <small>健康と長寿</small></p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
認知症サポーター数 (人)	3,500	2,367	2,418				69%
生活援助従事者研修の受講者数 (人)	30	9	14				47%
地域密着型特別養護老人ホームの数 (施設)	2	1	1				50%

基本目標	2	2
------	---	---

分野	健康・サポート
基本目標	「自立と支えあいの共生社会」をつくる

担当課	健康福祉課
-----	-------

各施策展開

施策 1 障害者を地域で包括的に支援する体制づくりの推進

令和4年度実績 (Do)
<b>障がい児者サポーター養成講座</b> ・新型コロナウイルス感染症の影響のため数年実施できなかったが、令和4年度は感染症対策を行い1回実施した。参加者14名
<b>基幹相談支援センター事業</b> ・令和4年4月に高根沢町障害児者基幹相談支援センターを開所した。(社)恵友会・NPO法人ゆめの2事業所に委託した。
<b>児童発達支援センターの設置</b> ・令和6年度開所に向け、町有地を無償貸付にて運営事業者の募集を開始した。
<b>障害者地域生活相談支援事業</b> ・(社)恵友会・NPO法人ゆめの2事業所に委託した。

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b> ・関係機関と調整を重ね、基幹相談支援センターを設置できた。具体的な事業(活動内容)と、それに係る町や関係機関との連携体制を一つひとつ詰めていくことが、今後の課題と考える。
<b>改善点</b> ・連携体制については、新しい会議を新規設置することが必ずしも正解ではなく、ケースに応じて、関係機関が速やかに、風通し良く情報共有、協議ができる、実効性のある体制を(意識付け含めて)醸成させていくことが必要となるため、委託先と協議していく必要がある。

令和5年度計画 (Plan)
<b>障がい児者サポーター養成講座</b> ・障がい児者サポーター養成講座の実施回数を増やし、サポーター数の増加を目指していく。
<b>基幹相談支援センター事業、障害者地域生活相談支援事業</b> ・基幹相談支援センターの委託先と定期的な連絡会を開催し、実効性のある体制を構築していく。
<b>児童発達支援センターの設置</b> ・令和6年度中に児童発達支援センターが事業開始できるように、事業者決定、契約を進めていく。

SDGs 中心となるゴール目標
 国内及び各国間の不平等を是正する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
障がい児者サポーターの数(人)	年間100人増加(延べ人数)	0(53)	14(67)				14%

施策 2 障害者の自立を支える支援の充実

令和4年度実績 (Do)
<b>障害者優先調達事業</b> ・市内周知を行い、障害者就労施設等から物品や役務など優先的に利用できるよう努めた。
<b>障害福祉サービス事業</b> ・施設入所支援、放課後等デイサービス等の事業を実施した。
<b>地域生活支援事業</b> ・移動支援、日中一時支援、訪問入浴支援等の事業を実施した。

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b> ・福祉サービス等の支援事業については、利用者は年々増えているが、希望するサービスを利用することができている。障害者優先調達については、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小や中止があったため大幅減となった。
<b>改善点</b> ・増え続ける利用者に対し、既存のサービスを継続的に提供できる体制を維持していくとともに、障害の種類の多様化に合わせた事業(サービス)を検討していく必要がある。

令和5年度計画 (Plan)
<b>障害者優先調達事業</b> ・引き続き市内各課へ周知を行い、障害者施設から物資や役務など優先的に利用できるように働きかけを行っていく。
<b>障害福祉サービス事業、地域生活支援事業</b> ・希望するサービスが利用できる体制を維持していくとともに、新たな要望の把握に努め、新規事業の検討を行っていく。

SDGs 中心となるゴール目標
 国内及び各国間の不平等を是正する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
障害者優先調達実績額(千円)	1,500	2,039	1,016				68%

基本目標	2	2
------	---	---

分野	健康・サポート
基本目標	「自立と支えあいの共生社会」をつくる

担当課	健康福祉課
-----	-------

各施策展開

施策 3 誰一人孤立させない環境づくりの推進

<p>令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>要援護者支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者をリストアップし、社会福祉協議会や民生委員等と連携し、該当者に登録希望の確認を行った。</li> </ul> <p><b>DV被害者対策推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DV被害者救済のため、認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎに委託し、相談業務等を実施した。(令和4年度相談件数:1,770件)</li> </ul> <p><b>ひきこもりサポーター派遣事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増え続けるひきこもり相談に応えるため、サポーター登録等の手続き、研修参加費用の助成をした。</li> <li>県ひきこもりサポーター登録者数:10名</li> </ul> <p><b>重層的支援体制整備事業</b></p> <p>「地域支えあいセンター」において、総合相談窓口の設置、志民活動に関する情報発信、ボランティア活動の応援を行った。</p>	<p>担当課長評価 (Check・Act)</p> <p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>DV被害及びひきこもりに対する相談は増えているが、ケースに応じ関係機関と連携しながら対応している。</li> <li>重層的支援体制整備は令和6年度からの本事業開始に向け、委託先との調整や課内係間の調整をしている状況である。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター(各種相談業務)自体は既に令和3年10月から稼働しているが、委託先内での他事業との兼ね合いや、行政・関係機関の支援体制がまだ確立していない。移行を円滑に進めていくため、令和5年度に包括化推進員を1名増員し対応する。</li> </ul>	<p>令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>要援護者支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、対象者をリストアップし、登録希望の確認を実施する。</li> </ul> <p><b>DV被害者対策推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎに相談業務等を委託する。</li> </ul> <p><b>ひきこもりサポーター派遣事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、サポーター登録等の手続き、研修参加費用の助成を行う。</li> </ul> <p><b>重層的支援体制整備事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>重層に係る委託先との調整においては、重層的な課題を抱えるケースに関係機関一体的に対応すべく、支援会議(ネットワーク会議)的なものを組織していく方向で進めていく。課内係間の調整としては、既存事業(生活支援体制整備事業等)の、重層の中での位置づけを一つひとつ明確にしていく。</li> </ul>
--	---	---

<p>SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>11 住み続けられるまちづくりを</b></p> <p>包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害時要支援登録者の数(人)</td> <td>基準値 497人の増加(延べ人数)</td> <td>22 (519)</td> <td>69 (566)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	災害時要支援登録者の数(人)	基準値 497人の増加(延べ人数)	22 (519)	69 (566)				100%
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗										
災害時要支援登録者の数(人)	基準値 497人の増加(延べ人数)	22 (519)	69 (566)				100%										

施策 3 誰一人孤立させない環境づくりの推進

<p>令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>自殺防止対策事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育児中の保護者等に対して、不安やストレスを軽減し、精神安定を図るために毎月「こころの相談」を実施し、継続した支援を行った。</li> <li>こころの相談:令和4年度11回29人、令和3年度12回33人</li> <li>町内中学校2か所で中学生を対象に「こころの健康づくりセミナー」と題して、思春期のこころの健康管理を含め、心のSOSの出し方、周囲に対してゲートキーパーとしての役割を学ぶ機会となる研修会を開催した。</li> <li>地域の核となる更生保護女性会の会員を対象に、ゲートキーパー研修を開催した。</li> </ul>	<p>担当課長評価 (Check・Act)</p> <p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こころの相談(保護者、育児)に限らず、他分野(高齢・介護、障害、家庭生活、社会生活等)も含めて、一般的に相談件数が伸びている状況である。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「育児」、「保護者」という切り口からの相談窓口としてこころの相談を実施しているが、相談内容を限定するのではなく、広く耳を傾け、必要に応じて関係機関への繋ぎ等も含めて支援していくよう、事業をより丁寧に実施していく必要がある。</li> </ul>	<p>令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>自殺防止対策事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年、新規の方の心療内科や精神科受診予約が困難な状況になっていることから、育児中の保護者に対してだけでなく、一般住民で精神的に悩みや不安のある方を対象に、心理カウンセラーによる「こころの相談」の回数を増やし(12回⇒18回)支援につなげていく。</li> <li>引き続き、町内の中学3年生を対象に「こころの健康づくりセミナー」を開催し、思春期のこころの健康づくりにつなげていく。</li> <li>更生保護女性会会員に対して、会員の要望に沿った形でゲートキーパー養成のステップアップ研修を開催し、地域での見守り体制の充実を図っていく。</li> </ul>
--	---	---

<p>SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>3 元来健康な生活を</b></p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ゲートキーパーの認知度(%)</td> <td>20</td> <td>13.4</td> <td>22.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>111%</td> </tr> </tbody> </table>	KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	ゲートキーパーの認知度(%)	20	13.4	22.1				111%
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗										
ゲートキーパーの認知度(%)	20	13.4	22.1				111%										

基本目標	2	3
------	---	---

分野	健康・サポート
基本目標	「健康寿命が長いまち」をつくる

担当課	健康福祉課
-----	-------

各施策展開

施策 1 生活習慣病予防の推進

令和4年度実績 (Do)
<b>生活習慣病予防事業ほか</b>
・健康診査の結果に応じて、健康づくりの意識啓発や、生活習慣改善に向けた健康相談・教室を開催した。
<主な実績>
・健康診断結果説明会:20回、1221人
・栄養相談:15回、16人
・ポテトイェンツィスクール:2クール12回、107人
・小中学生栄養相談:10回、16人
・幼児の栄養教室:8回、230人
・幼児のフッ素塗布事業:2回、239人
・サロン栄養講話:8回、111人

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
・特定健診受診者に対しては、結果説明会にて一人一人に結果説明を実施し、参加できない方に対しては、電話で結果説明を行うなど、積極的に、漏れがないようアプローチを行った。
<b>改善点</b>
・積極的なアプローチにより、健康相談・教室は参加者数を伸ばしているが、フォロー等の継続的支援につなげていく部分については、試行錯誤を重ねている状況のため、今後とも検討する必要がある。

令和5年度計画 (Plan)
<b>生活習慣病予防事業ほか</b>
・アプローチの部分は、栄養教室・運動教室の増(各々2回分)など、さらに積極的に各種健康相談・教室を開催していく。
・継続支援の部分は、専門職(管理栄養士、運動指導士等)によるきめ細やかな指導を行うことで、さらに参加者の意識を高め、日頃から、自ら健康づくり活動を実施していくように誘導を図っていく。

SDGs 中心となるゴール目標
 3 健康的な生活と福祉 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
健康寿命(男性) ※3年ごとに調査・公表	80.03 (H28年度)	-	79.09 (R元年度)				
健康寿命(女性) ※3年ごとに調査・公表	83.78 (H28年度)	-	84.37 (R元年度)				

施策 2 「自分の健康は自分でつくる」意識と環境づくりの推進

令和4年度実績 (Do)
<b>健康診査事業ほか</b>
・疾病の早期発見および重症化を防ぐため、健康増進法等に基づく各種健康診査を実施した。
・がん検診を推進するため、一定年齢の方を対象に無料で子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診を実施した。
<主な実績>
胃がん検診:765人、胃リスク検診:84名、肺がん検診:1595名、喀痰検査:2名、大腸がん検診:1550人、子宮がん検診:602人、乳がん検診:1123人、骨密度検査:527人、前立腺がん検診:585人、肝炎検査:132人、歯周疾患検診:37人

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
・集団検診受診人数は、令和元年度(コロナ前)2,719人に対し、令和2年度1,761人、令和3年度2,064人、令和4年度2,548人と、ほぼコロナ前の水準にまで回復してきた状況である。
<b>改善点</b>
・NIKO・NIKO健康ポイントについて、対象事業を拡充することで登録者数の増加が期待できるため、今後も工夫をしながら地道に啓発活動を継続していく必要がある。

令和5年度計画 (Plan)
<b>健康診査事業ほか</b>
・アプローチについて、さらに工夫を重ねていき、受診者数増につなげていく。また、精密検査対象者に対しても定期的に受診状況の確認を行い、フォローしていく。
・後期高齢分野について、令和5年度から個別健康診査が開始されるので、保健分野の立場から周知を図っていく。
・高齢、介護との一体化事業として、ハイリスクアプローチ(健康データが何もない人への接触)、ポピュレーションアプローチ(サロン等での教室、指導)など、現場に積極的に出向き受診勧奨を行っていく。

SDGs 中心となるゴール目標
 3 健康的な生活と福祉 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
健康ポイント登録者数(人)	250	14	17				7%
自分が健康であると思う人の割合(%)	90	82.9	81.0				90%

基本目標	2	3
------	---	---

分野	健康・サポート
基本目標	「健康寿命が長いまち」をつくる

担当課	健康福祉課
-----	-------

各施策展開

施策 3 あらゆる感染症に備えた体制の強化

令和4年度実績 (Do)
<p><b>定期予防接種事業ほか</b></p> <p>・感染症のまん延を予防するため、予防接種法に規定された予防接種や、法定外の予防接種を実施した。</p> <p>&lt;主な実績&gt;</p> <p>定期予防接種:4種混合:811件,2種混合:218件,麻しん風しん(1期):210件,麻しん風しん(2期):183件,日本脳炎:789件,BCG:201件,ヒ7:794件,小児肺炎球菌:784件,水痘:391件,B型肝炎:572件,子宮頸がん:320件,α1価:346件,α5価:57件,不活化ポリオ1件、高齢者インフルエンザ:4390件,高齢者肺炎球菌:139件,法定外予防接種:麻しん風しん:16件,風しん:2件</p>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <p>・予防接種は予定通り実施したが、コロナ禍で、国全体が総合的な感染症対策よりも、コロナ対策に注力せざるを得ない状況がここ数年続いている状況である。</p>
<p><b>改善点</b></p> <p>・コロナ5類移行を契機として、アフターコロナ＝普段からの感染症対策＝新しい生活様式を考え、定着させていくことが必要となる。</p>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>定期予防接種事業ほか</b></p> <p>・一部助成を拡充し、子どものインフルエンザ予防接種について、生後6か月～13歳未満の1回あたりの助成額を1,000円→2,000円に引き上げるほか、任意予防接種でおたふくかぜ予防接種助成を開始する。</p> <p>・未接種者に対しては、広報周知に加え個別勧奨を実施していく。</p> <p>・新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂については、コロナが5類移行となることや、県で令和5年度に予防計画の改訂を予定していることを踏まえ、コロナ対策の教訓を検証することから作業を開始していく。</p>

SDGs 中心となるゴール目標
<p><b>3</b> <small>健康と長寿</small></p> <p>あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
新型インフルエンザ等対策行動計画	改定	未改定	未改定				

地域経営計画体系

基本目標	3	1	分野	魅力・活力	担当課	産業課
			基本目標	「活力ある農業」を振興する		

各施策展開

施策 1 地域の特色を生かした農業の推進

<p>令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>人・農地プラン実現化推進事業</b></p> <p>・地域の農業者の高齢化や後継者・担い手の不足、耕作放棄地の増加など、人と農地の問題を一体的に解決するため、近い将来の地域内の農業において、中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者を明確化し、各地区における将来の農業の在り方をまとめた人・農地プラン（地域計画）策定に向け、各地区の現状と課題の共有を図るため、全16地区で7月～8月に第1回人・農地プラン（地域計画）懇談会を開催した。併せて、将来の農業経営についてのアンケートを実施した。</p> <p>また、3月には第2回人・農地プラン（地域計画）懇談会を開催し、アンケート結果の報告を行った。</p>	<p>担当課長評価 (Check・Act)</p> <p><b>全体評価</b></p> <p>・懇談会には地区の認定農業者などの中心経営体等を対象に約100名の方に参加いただき、地区ごとの担い手数や集積・集約状況など、地域農業の現状を共有して意見交換することかできた。アンケート調査の結果から人・農地プランの実現化への課題等が明確になった。</p> <p><b>改善点</b></p> <p>・地域計画の策定を着実に進めるため、各地区の意見を取りまとめ、整理し、目標地図（案）の検討に入ることができるようにするとともに、人・農地プランの実現化への課題を解決する取組みを早急に構築することが必要である。</p>	<p>令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>人・農地プラン実現化推進事業</b></p> <p>・令和6年度末までに全16地区の地域計画（グレードアップした人・農地プラン）を策定するため、農業委員会が作成する目標地図（素案）と連携し、地域計画の素案を作成する。</p> <p>併せて、地域が一体となった広域的な保全管理の体制づくりに向け、『多面的機能支払交付金制度』を活用した保全活動の広域化についての調査研究、関係機関との協議、農家の皆さんとの情報共有などを進めていく。</p>																
<p>SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</b></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実質化された「人・農地プラン」の実現（地域数）</td> <td>16</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	実質化された「人・農地プラン」の実現（地域数）	16	0	0				0%	
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗											
実質化された「人・農地プラン」の実現（地域数）	16	0	0				0%											

施策 2 農産物ブランド戦略の見直し

<p>令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>土づくり見える化事業</b></p> <p>・農業者へのたい肥活用を促進することを目的に、土づくりセンターで製造したたい肥「たんたんくん」の施肥効果を農産物（リーフレタス・シュンギク・カブ）の生育状況や収穫後の食味値等の分析により見える化を図った。</p> <p><b>環境保全型農業直接支払交付金事業</b></p> <p>・農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動の支援として、堆肥の施用に取組む団体（町環境保全農業会：9名）の活動を支援した。また、生産したお米は、道の駅たかねざわ元気あっぶむらの新米即売会で販売し、消費拡大を図った。</p>	<p>担当課長評価 (Check・Act)</p> <p><b>全体評価</b></p> <p>・たい肥「たんたんくん」と化成肥料の施肥効果を農産物の生育状況や収穫後の食味値等の分析により「おいしさ」という付加価値を客観的に比較することで見える化ができた。</p> <p>また、環境負荷を軽減する取組みについては、離農された方がそうした取り組みをする人に農地を預ける傾向も見られるようになった。</p> <p><b>改善点</b></p> <p>・消費者には持続可能な循環型農業やエンカル消費について、農業者にはたい肥施用の効果についての理解を深めていただき、たい肥を施用した農産物の消費・生産拡大を図るためには、見える化する農作物の品目を増やすことと、見える化したものを広く周知することが必要である。</p>	<p>令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>土づくり見える化事業</b></p> <p>・土づくりセンターの指定管理者である共和化工(株)の自主事業として、農業者へのたい肥活用を促進することを目的に、製造したたい肥の施肥効果について、食味値や土壌分析を行い、見える化を図っていく。また、交流事業等を通じて施肥効果の周知を図っていく。</p> <p><b>環境保全型農業直接支払交付金事業</b></p> <p>・環境負荷の軽減・地球温暖化防止・生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動の支援として、引き続きたい肥の施用に取組む団体の活動を支援する。また、生産したお米は、道の駅たかねざわ元気あっぶむらの新米即売会で販売し、消費拡大や取組のPRを行い、町内で同様の活動が広まるよう周知する。</p>																
<p>SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</b></p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全型農業の取組面積 (ha)</td> <td>75</td> <td>41.6</td> <td>47.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table>	KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	環境保全型農業の取組面積 (ha)	75	41.6	47.0				63%	
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗											
環境保全型農業の取組面積 (ha)	75	41.6	47.0				63%											

基本目標	3	1
------	---	---

分野	魅力・活力
基本目標	「活力ある農業」を振興する

担当課	産業課
-----	-----

各施策展開

施策 3 「とちぎの星」をきっかけとした町内産農産物のPR

令和4年度実績 (Do)
<p><b>各PR事業等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎの星」を活用したプロモーション事業のひとつとして、町主催（企画課）の「Rural Pop Live」を開催し、とちぎの星ブースでとちぎの星の配膳・配布を行い、PRを実施した。</li> <li>・青少年クラブ（4HC）等の団体の農産物栽培体験事業を支援した。</li> <li>・高根沢ローカルグルメの推進として、各イベントやマルシェ等（道の駅たかねざわ元気あっぱむら等）でPRを図った。</li> <li>・「とちぎの星」の作付拡大のため、各総会や懇談会等を通じて、作付面積拡大の推進を図った。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや体験事業を通じて、町内産農産物やそれを使用したローカルグルメをPRすることができた。「とちぎの星」の本年度の作付面積は、コロナ禍により主食用米の需要が大きく減少する中、過去最大規模の作付け転換を進めたため、大きく減少することとなった。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本町産米「とちぎの星」として、生産者、関係機関等と連携して、大嘗祭献上米、御料牧場などをキーワードにブランド化を図ることが必要である。作付面積は米政策に合わせて見直しが必要である。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>各PR事業等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年クラブ（4HC）が実施する農産物栽培体験事業や本町産「とちぎの星」をPRする農産物PR消費者交流事業に対して支援を行っていく。</li> <li>・「とちぎの星」の作付拡大のため、各総会や懇談会等を通じて、作付面積拡大の推進を図っていく。ただし、米政策に合わせた対応も必要になってくることから、単なる作付面積の拡大だけでなく、町内産農産物全体のPRに繋がる取組みを検討していく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
<p><b>2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</b></p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
とちぎの星の作付面積 (ha)	630	605	494				78%

基本目標	3	2
------	---	---

分野	魅力・活力
基本目標	「魅力的なまち」をつくる

担当課	産業課
-----	-----

各施策展開

施策 1 企業支援体制の充実

令和4年度実績 (Do)
<p><b>マニー高根沢本社R&amp;Dセンター整備のサポート</b></p> <p>・マニー(株)進出予定地における施設整備が円滑に進められるよう、関係機関(県の関係部局、土木事務所、県警等)との連絡調整及び協議を行うとともに、地元住民への挨拶等における側面的支援を行った。</p> <p><b>企業立地支援</b></p> <p>・町内への企業立地の促進及び立地企業の活動をサポートするため、産業団地(ソフトリサーチパーク情報の森とちぎ、分譲地1区画)のPR、情報の森管理連絡協議会の活動支援等を行った。年間をととして産業団地に関する問合せが数件あった。</p>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <p>・マニー(株)の施設整備のサポートについては、着工に向け、マニー(株)、コンサル業者と連絡調整を密に行い、栃木県、県警など関係機関との協議が円滑に進められた。また、企業立地支援については、産業団地に関する問い合わせが数件あったが立地には至らなかった。</p> <p><b>改善点</b></p> <p>・企業立地支援について、分譲地が1区画であることから、企業を受け入れるための用地を確保し、将来的に、新たな産業団地を整備する可能性について検討する必要がある。</p>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>マニー高根沢本社R&amp;Dセンター整備のサポート</b></p> <p>・マニー(株)進出予定地における施設整備の着工に向けて、引き続き関係機関や地元住民との連絡調整及び協議をサポートしていく。</p> <p><b>企業立地支援</b></p> <p>・町内への企業立地を促進するため、「栃木県企業立地促進協議会」のパンフレットを活用し、産業団地のPRや問合せへの対応を行う。</p> <p>また、将来的に、町内に産業団地を整備する可能性について、県との連携協力を密にしながら検討していく。</p>

SDGs 中心となるゴール目標
<p><b>8 働きがいと経済成長</b></p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
マニー(株)進出予定地における操業年度	操業開始	-	-				

施策 2 町の資源を活用した創業支援体制の充実

令和4年度実績 (Do)
<p><b>クリエイターズ・デパートメント事業</b></p> <p>・創業支援施設3期生の募集・選定を行った。結果、10件の申請があり、うち5件の方が入居者に決定した。</p> <p>・多目的広場の利活用について年間をととしてSNS等で発信し続けた結果、マルシェやイベントが6件開催された。</p> <p>・駅前の賑わいづくりのため、創業支援施設入居者が実行委員となりマルシェを開催し、町は側面的な支援を行った。(実施回数:4回、総来場者数:3,400人)</p> <p>・町内外に向けて施設を広くPRするため、SNSやパンフレットを活用した周知活動を行った。</p> <p><b>創業支援</b></p> <p>・創業希望者からの相談を随時受け、個々の段階に応じた支援を行った。結果、年間で35件の相談を受け、うち4件が創業へとつながった。</p> <p>・創業希望者のネットワークづくりのため、創業カフェ(交流会)を開催した。(参加者数:24名、うち2名が創業支援施設に入居)</p>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <p>・クリエイターズ・デパートメント事業については、創業支援施設第3期の入居者も決定し、創業したい方のニーズに応えられたこと、第2期の入居者が中心となりマルシェを開催されたことで、創業支援・交流人口・駅前の賑わい創出の流れを継続できた。また、創業支援については、創業希望者に寄り添った支援や交流会を開催することで4件の創業、2名が創業施設に入居するなどの事業効果があった。</p> <p><b>改善点</b></p> <p>・クリエイターズ・デパートメント事業については、第3期の入居者の営業開始に伴い情報発信とマルシェ開催の担い手としての育成を図ること、前入居者や町農工商業者等と協力を得て、マルシェを恒常的に開催する仕組みの確立が必要である。また、創業支援については、「移住・定住・創業支援センター」の機能の向上が必要である。</p>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>クリエイターズ・デパートメント事業</b></p> <p>・創業支援施設3期生が営業を開始したことから、施設PR用パンフレットをリニューアルし、SNSを活用しながら情報発信の強化を図る。</p> <p>・創業支援施設入居者による駅前の賑わいづくり(マルシェの開催等)をサポートし、多目的広場の利活用促進と併せて、賑わいづくりの新たな担い手の掘り起こしを行う。</p> <p><b>創業支援</b></p> <p>・個々の創業希望者に寄り添ったきめ細やかな支援を行う。</p> <p>・創業希望者のネットワークづくりとして好評を得ている「創業カフェ」を開催する。</p> <p>・「クリエイターズ・デパートメント」や「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」等の町の資源と、地域の人的ネットワークを活用した創業支援を行う。</p>

SDGs 中心となるゴール目標
<p><b>8 働きがいと経済成長</b></p> <p>包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
町内における創業者数(人/年)	8	4	4				50%

基本目標	3	2
------	---	---

分野	魅力・活力
基本目標	「魅力的なまち」をつくる

担当課	産業課
-----	-----

各施策展開

施策 3 地域資源を活用した町の賑わい創出

令和4年度実績 (Do)

**高根沢ロックサイドマーケット開催事業**

・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、高根沢ロックサイドマーケットの名称、場所、規模、コンセプトを変更し、コロナ禍において人の集いを楽しむ場を提供することを目的として、新たなイベント「丘の上の音楽祭」を開催した。(開催日：R4.12.18(日)、場所：道の駅たかねざわ 元気あっぷむら、来場者数：1,500人)

**事業者支援**

・事業者の新たなチャレンジを応援するため、イベントの開催やインターネット販売サイトの開設を行う事業者に対し、町の補助制度による支援を行った。(補助件数：2件、補助金額：338千円)

担当課長評価 (Check・Act)

**全体評価**

・ロックサイドマーケットに変わって3年ぶりに開催したイベントでは、コロナ禍における新たな賑わいを創出することができた。また、事業者支援では、魅力的で元気な事業者創出のための新規補助制度が十分活用された。

**改善点**

・ロックサイドマーケットの開催については、コロナの感染の状況等を踏まえての判断となるため、恒常的に駅前が賑わうイベントを開催できる人材の育成と仕組みを構築する必要がある。また、魅力的で元気な事業者創出のための補助制度の活用を図るため、積極的な情報発信が必要である。

令和5年度計画 (Plan)

**高根沢ロックサイドマーケット開催事業**

・新型コロナウイルス感染症の拡大が一定の落ち着きを見せてきたが、依然として駅前で数万人規模のイベントを行うことは困難であることから、町内の農工商関係者など、賑わいづくりの担い手となり得る事業者と連携し、駅前で恒常的にマルシェが開催される環境を整えるなど、駅前の賑わいづくりに取り組む。(新規事業：担い手によるイベント開催側面支援事業)

**事業者支援**

・町内に魅力的で元気な事業者を増やすため、町の補助制度を活用し、マルシェの開催や新商品開発、インターネット販売など、事業者の新たなチャレンジを支援する。

SDGs 中心となるゴール目標

**8 豊かになる社会**

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
イベント等の開催数(回/年)	8	3	7				88%

施策 4 「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」を拠点とした町の魅力創出

令和4年度実績 (Do)

**「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」プロモーション事業**

・町内のクリエイターや活動している団体等と共同した、体験メニューやイベント等の企画、開催の拡充を支援した。

・町内の生産者や飲食店等と共同したイベントの開催を支援した。「新米即売会等」

・町内の生産者と協力し実施する農業体験等を支援した。「はつか大根栽培、バケツ稲、リビングなめこ等」

・町産農産物のPR、商品開発の支援をした。「県外ショッピングモール等」「町産農産物等を使用したオリジナル商品販売」

・SNSやHP、メディア等での積極的な情報発信「テレビ、新聞、情報誌等」

担当課長評価 (Check・Act)

**全体評価**

・TV、動画広告等で積極的に情報発信するとともに、指定管理者と町内のクリエイターや活動団体等の橋渡し役となり、共同での体験メニューやイベント等の企画・開催が拡充したことは、来場者数が前年比約6万7千人増加につながった。

**改善点**

・町の魅力を発信するため、本町の魅力となるものの発掘・開発と、来場者を増やすため、若年層・ファミリー層をターゲットにした新たなイベントやメニューの企画・開催が必要である。

令和5年度計画 (Plan)

**「道の駅たかねざわ 元気あっぷむら」プロモーション事業**

・指定管理者に対し、引き続き町の魅力等を発信するための取組への助言等側面的支援を行う。

・20～40代の若年層、ファミリー層が行きたくなくなる企画・運営への助言等側面的支援を行う。特に子ども向けイベント、講座の充実を図る。

・平日の利用促進への取組みの強化

・SNSやHP、メディア等での積極的な情報発信の支援を行う。

SDGs 中心となるゴール目標

**8 豊かになる社会**

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
道の駅たかねざわ元気あっぷむら施設来場者数(人)	450,000	330,294	397,449				88%

基本目標	3	3
------	---	---

分野	魅力・活力
基本目標	「情報がつながる環境」をつくる

担当課	企画課
-----	-----

各施策展開

施策 1 次代に向けた情報発信力の強化

令和4年度実績 (Do)
<b>情報発信事業、広報たかねざわ発行</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページは、必要な情報をわかりやすく発信できるよう、トップページ・構成・レイアウトの変更について検討を行った。令和4年度の町ホームページへのアクセス数は310,125件（令和3年度は422,329件）</li> <li>広報紙は、カラーページを増やし、見て楽しくわかりやすい紙面づくりに努めるとともに、町内の保育園・幼稚園を通じて子育て世帯への直接配布を継続実施した。</li> </ul>
①カラー刷り追加回数 令和3年度…5回(6・9・1・2・3月号) 令和4年度…9回(6・7・8・10・11・12・1・2・4月号) ※追加した回数の増加率28.5%

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページは、令和2～3年度にかけコロナ関連情報へのアクセスが増加したが、令和4年度はコロナ関連情報へのアクセス数が減少したと見られるため、トップページのコロナ関連情報を整理した。</li> <li>広報紙は、新聞折込数が減少しつつある中、子育て世帯へのプッシュ型配付を開始したことにより、全体の配付部数が増加した。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページは、前回リニューアルから6年が経過しており、蓄積情報の整理、機能性・デザイン性の見直しが必要である。</li> <li>広報紙は、新聞折込数の減少が続いているため、配布方法を増やしていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>情報発信事業、広報たかねざわ発行</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページは、時代にあったシステム・レイアウト等に更新する必要があるため、掲載記事の整理や構成、トップページのデザイン等のリニューアルを年度内に実施し、機能性・デザイン性を向上させる。</li> <li>広報紙は、カラーページを効果的に配置し、見て楽しくわかりやすい紙面づくりに努める。新聞折込数は減少傾向にあるため、引き続き、幅広い年齢層に手に取っていただけるよう、町内の高齢者施設や商業施設等の新規配布先を開拓していく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
新たな町の情報発信媒体の数	5	7	7				100%
町ウェブサイトへのアクセス数	500,000	422,329	310,125				62%

施策 2 本町の強みを生かしたプロモーションの推進

令和4年度実績 (Do)
<b>「とちぎの星」を活用したプロモーション事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「訪れたい町」「また行きたくなる町」「住みたい町」の実現に向け、東京圏の若者・ファミリー層を惹きつける新たな魅力を創出するため、道の駅たかねざわを拠点に「モニターツアー」「Rural Pop Live」を開催した。</li> <li>幅広いターゲット層からの共感を得るため、U字工事を起用したコミカルでインパクトのある新たな動画を制作して広告配信を行った。</li> <li>高根沢町らしさを表現したキービジュアル・タグライン（自然を吸い込む、街の音が聴こえる）を制作した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>動画広告は視聴回数86万回にのぼった。ホームページのアクセスはイベント開催時に多くなり、どの月も東京からのアクセスが一番多く、年齢は35～44歳の年代が多い傾向にあったことから、本事業でターゲットとして見込んでいる層へ効果的であった。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京圏から20～40代の子育て世帯を呼び込むため、子育て世帯がくつろげる時間・空間を提供するイベント等及びその情報発信について検討し、交流人口→関係人口→移住・定住の流れを生み出すことが必要である。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>宇都宮大学「地域プロジェクト演習」パートナー事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>とちぎの星プロモーション事業の調査結果を活用し、20～40代の子育て世帯の誘客に結びつく活動をどうするべきかについて、官・学連携による多角的な視点から検討していく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
町の休日滞在人口	58,000	52,693	52,329				90%

地域経営計画体系

基本目標	4	1
------	---	---

分野	環境・社会基盤
基本目標	「魅力ある住環境」をつくる

担当課	都市整備課
	地域安全課

各施策展開

施策 1 計画的かつ一体的な住環境の整備

令和4年度実績 (Do)
<b>宝積寺西通り・西駅前通り整備事業</b> ・道路整備計画に基づき宝積寺西通り・西駅前通りを整備するため、詳細設計を実施した。 西通り・西駅前通り道路詳細設計 L=0.46km
<b>都市再生整備計画事業（前年度繰越分）</b> ・令和3年度に着工した宝積寺駅西第一地区の街区公園2号の整備が完了し供用を開始した。（令和3～4年度）
<b>都市再生整備計画事業</b> ・宝積寺駅西第一地区の街区公園3号の整備を開始したが、年度内の完成が見込めないため令和5年6月まで工期を延長した。 （令和5年度へ繰越）

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b> ・コロナ禍により資材調達に遅れが生じたため一部の事業を繰越したが、計画どおり事業に着手できている。
<b>改善点</b> ・令和5年度に繰越した街区公園3号について、早期の供用開始及び安心・安全に利用できるように進捗管理を行う。

令和5年度計画 (Plan)
<b>宝積寺西通り・西駅前通り整備事業</b> ・宝積寺西通り・西駅前通りを整備するため、用地測量・用地取得を進める。 西通り・西駅前通り用地測量業務 A=3.89万m <sup>2</sup> 西通り（国道408号側）用地取得
<b>都市再生整備計画事業（前年度繰越分）</b> ・令和5年度に繰越した街区公園3号を整備し供用を開始する。（令和4～5年度）
<b>都市再生整備計画事業</b> ・令和4年度に整備した街区公園2号の利用環境の向上を図るため、トイレ・東屋を設置する。

SDGs 中心となるゴール目標
 9 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
 11 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
道路網整備計画に基づく道路整備済み延長 (m)	2,393	1,963	1,963				82%
整備済み都市公園の数 (箇所)	17	15	16				94%

施策 2 安全で快適な道路網の整備

令和4年度実績 (Do)
<b>橋梁修繕事業・雨水対策事業</b> ・道路や橋を安全で快適に利用できるように雨水対策・橋梁点検を計画的に実施した。 雨水浸透槽の設置 6箇所 雨水浸透槽点検・清掃 15箇所実施 橋梁点検実施箇所 53橋実施

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b> ・雨水対策や橋梁点検作業は、住民生活に直接影響する事業のため、計画的に実施することで生活環境の改善を図ることができた。
<b>改善点</b> ・局地的な集中豪雨などによる浸水被害から生活環境を守るための抜本的な雨水対策が必要である。

令和5年度計画 (Plan)
<b>橋梁修繕事業・雨水対策事業</b> ・計画的な雨水対策・橋梁点検を進めるとともに、浸水被害が深刻な箇所の排水計画を策定する。 雨水排水対策基本計画策定業務 6箇所 浸透槽設置工事 5箇所 雨水浸透槽点検・清掃 15箇所以上実施 橋梁点検実施箇所 31橋実施

SDGs 中心となるゴール目標
 9 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
雨水浸透槽の点検・清掃箇所数 (箇所/年)	15	17	15				100%
点検を行った橋梁の数 (延べ) (橋)	519	333	386				74%

基本目標	4	1
------	---	---

分野	環境・社会基盤
基本目標	「魅力ある住環境」をつくる

担当課	都市整備課
	地域安全課

各施策展開

施策 3 公共交通の利便性向上

令和4年度実績 (Do)
<p><b>デマンドバス運行事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町全域をカバーする公共交通として、デマンドバス「たんたん号」を運行するため、(有)宝積寺タクシーに運営・運行業務を委託した。</li> <li>・市貝町から廃止の要望があった市貝町への乗り入れ路線について、公共交通会議に諮り運行廃止を決定した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度と比較して、コロナ対策の外出自粛要請が緩和されたことにより、大幅に利用者が増加したが、引き続き感染症対策等を徹底し、安心して利用できる環境づくりに努めた。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民から親しまれ、利用しやすい公共交通を目指し、利便性をさらに向上させていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>デマンドバス運行事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託契約が令和5年度で満了するため、令和6年度から新たな業務委託を締結する。地域の足を支える公共交通として、引き続き、デマンドバス「たんたん号」を運行していく。</li> <li>・町内や近隣市町の公共交通の運行状況を調査し、公共交通としての利便性向上を図っていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
デマンドバス「たんたん号の利用者数」(人)	前年比365人増加(延べ人数)	337 (40,146)	1,696 (41,842)				465%

基本目標	4	2
------	---	---

分野	環境・社会基盤
基本目標	「水の安定した供給・循環」を支える

担当課	上下水道課
-----	-------

各施策展開

施策 1 安全で安心な水の供給

<p style="text-align: center;">令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>老朽管更新事業</b></p> <p>・令和4年度は、912mの老朽化した配水管の更新及び耐震化を実施した。</p> <p>配水管布設替え工事① (光陽台地内) 耐震管 L=512.4m</p> <p>配水管布設替え工事② (光陽台地内) 耐震管 L=399.6m</p>	<p style="text-align: center;">担当課長評価 (Check・Act)</p> <p style="text-align: center;"><b>全体評価</b></p> <p>・水道ビジョンに基づき、老朽化した水道管の計画的な更新と耐震化を実施することができた。</p> <p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p> <p>・老朽管更新工事の周知や関係機関との連絡調整を密に図り事業を円滑に進める必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>老朽管更新事業</b></p> <p>・引き続き、老朽化した配水管の更新及び耐震化を実施する。</p> <p>配水管布設替え工事① (光陽台地内) 耐震管 L=600m</p> <p>配水管布設替え工事② (光陽台地内) 耐震管 L=365m</p> <p>配水管布設替え工事③ (光陽台地内) 耐震管 L=355m</p> <p>配水管布設替え工事④ (平田地内) 耐震性を比較的有する管 L=200m</p>																								
<p style="text-align: center;">SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>6</b> 安全な水と衛生を確保する</p> <p>全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水道管の耐震化率 (%)</td> <td>80</td> <td>75.68</td> <td>75.95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	水道管の耐震化率 (%)	80	75.68	75.95				95%								
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗																			
水道管の耐震化率 (%)	80	75.68	75.95				95%																			

施策 2 計画的な下水道整備と施設管理の推進

<p style="text-align: center;">令和4年度実績 (Do)</p> <p><b>宝積寺処理区汚水幹線枝線事業</b></p> <p>・公共下水道事業において、未普及地域を解消するため、令和4年度は受益面積2.38haの管渠築造工事を実施した。</p> <p>管渠築造工事① (西町地内) A=0.53ha</p> <p>管渠築造工事② (西町地内) A=1.85ha</p>	<p style="text-align: center;">担当課長評価 (Check・Act)</p> <p style="text-align: center;"><b>全体評価</b></p> <p>・公共下水道の早期整備を実現するため、令和4年度は8.96ha (5件)の管渠築造工事を計画していたが、関係機関との協議の結果、6.58ha (3件)を翌年度に繰越した。</p> <p style="text-align: center;"><b>改善点</b></p> <p>・令和5年度に繰越した管渠築造工事6.58ha (3件)について、関係機関との連絡調整を密に図り事業を円滑に進める必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">令和5年度計画 (Plan)</p> <p><b>宝積寺処理区汚水幹線枝線事業</b></p> <p>・引き続き、未普及地域を解消するため、管渠築造工事を実施する。</p> <p>管渠築造工事 (前年度繰越分) 管渠築造工事③～⑤ (西町地内) A=6.58ha</p> <p>管渠築造工事 (今年度分) 管渠築造工事①～⑤ (西町地内) A=8.54ha</p>																								
<p style="text-align: center;">SDGs 中心となるゴール目標</p> <p><b>6</b> 安全な水と衛生を確保する</p> <p>全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>KPI 成果目標</th> <th>目標</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>進捗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街化区域公共下水道整備率 (%)</td> <td>100</td> <td>82.92</td> <td>84.69</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗	市街化区域公共下水道整備率 (%)	100	82.92	84.69				85%								
KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗																			
市街化区域公共下水道整備率 (%)	100	82.92	84.69				85%																			

基本目標	4	2
------	---	---

分野	環境・社会基盤
基本目標	「水の安定した供給・循環」を支える

担当課	上下水道課
-----	-------

各施策展開

施策 3 下水道事業の健全経営

令和4年度実績 (Do)	担当課長評価 (Check・Act)	令和5年度計画 (Plan)
<p><b>下水道使用料見直し事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道事業の経営健全化を図るため、下水道審議会にて、令和3～4年度にかけて下水道使用料について審議を行い、令和4年7月、審議会から下水道使用料見直しの答申があった。</li> <li>議会での承認を得て、令和5年度より基本料金及び各水量区分の超過料金を25%引き上げることとした。</li> </ul> <p><b>水酸化促進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道使用料収入を確保するため、広報たかねぎわに下水道接続についての案内を掲載し、水洗化率の向上を図った。</li> </ul> <p>令和3年度末 水洗化率 85.73% 令和4年度末 水洗化率 86.62%</p>	<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>下水道審議会を開催し、下水道使用料の適正化を図るため審議を重ねた。下水道使用料の改定にあたっては使用者の理解が必要であり、広報紙等にて使用料改定の必要性や内容について周知活動を行った。</li> <li>水洗化率の向上のため、広報紙による周知活動を行った。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の下水道使用料の引上げにより、汚水処理費の全額を使用料収入で賄うこと（経費回収率100%）ができているか毎年度確認する必要がある。</li> <li>下水道供用開始後3年を経過している者については、通知等で個別に対応する必要がある。</li> </ul>	<p><b>下水道使用料見直し事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道事業の経営状況について検証を行い、健全経営に努めていく。</li> </ul> <p><b>水酸化促進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動を継続して行き、水洗化率の向上を図る。また、下水道供用開始後3年を経過している者については、通知等個別の対応を行う。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標	
 6 安全な水と衛生 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
下水道使用料の見直し	実施	未実施	実施				

基本目標	4	3
------	---	---

分野	環境・社会基盤
基本目標	「環境に配慮したしくみ」をつくる

担当課	環境課
-----	-----

各施策展開

施策 1 環境の変化に適応した施策の展開

令和4年度実績 (Do)
<b>ゼロカーボン関係計画策定事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年5月31日に高根沢町「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、町の脱炭素化に向け関連計画策定に着手した。</li> <li>・策定した計画                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 町の事務事業の脱炭素化に係る「地球温暖化推進実行計画(事務事業編)」</li> <li>(2) 気候変動への対応に係る「気候変動適応計画&lt;0.1版&gt;」</li> </ul> </li> <li>・脱炭素社会実現に向けた先進事例の情報収集や現地視察を行った。</li> <li>・脱炭素・気候変動適応に関する分野別協定をリコージャパン(株)栃木支社と締結した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロカーボンシティ宣言したことを踏まえ、「地球温暖化推進実行計画(事務事業編)」、「気候変動適応計画&lt;0.1版&gt;」の策定により、地球温暖化や気候変動に対して漠然としていたものを「見える化」し、町として脱炭素社会の実現に向けた基本的な方針を定めた。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2050年ゼロカーボン実現に向け、国、県の動向を注視しながら、省エネルギーや再生可能エネルギー等を活用した新たな施策に取組むとともに、脱炭素社会への移行に向けた機運が高まるよう、全庁的に一体となって取組む必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>ゼロカーボン関係計画策定事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素社会実現に向けたロードマップとなる「高根沢町脱炭素ビジョン(仮称)」を策定する。</li> <li>・「高根沢町脱炭素ビジョン(仮称)」・・・本町の現状把握・再エネポテンシャル・複数の脱炭素シナリオ等について調査分析を実施するもの。</li> <li>・策定されたビジョンに基づき、町の特性や実態に合わせた具体的な施策等を盛り込んだ「地球温暖化対策推進実行計画(区域施策編)」の策定作業に着手する。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗

施策 2 「ごみを出さない」暮らしの推進

令和4年度実績 (Do)
<b>プラスチック回収再資源化事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃ごみ排出量の削減と限りある資源の循環利用を目指して、容器包装プラスチック分別回収を実施した。</li> <li>・プラスチックごみの削減を加速するために、容器包装プラスチック以外の「プラスチック製品」の分別回収の試行を開始した。</li> <li>・「プラスチック製品」の分別回収を町全域で実施するため、再生ルート確立等の準備を行った。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装プラスチック分別回収は、2020年度から全町でステーション回収が開始されたことから、回収量も増えてきており、ごみを減らし、リサイクル・資源の循環利用を促すことに繋がっている。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装プラスチック以外の「プラスチック製品」の分別回収の試行や全町域で実施するための、再生ルートの確立準備を行ったことから、新たなプラスチックの回収・再資源化の事業展開に取組むとともに、更なる町民への積極的な呼び掛けや普及啓発の工夫に努める必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>プラスチック回収再資源化事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器包装プラスチック分別回収に加え、「プラスチック製品」の分別回収事業を開始する。</li> <li>・令和5年度は、資源回収イベントの回収品目に「プラスチック製品」を追加した。町内3か所の拠点において、回収イベントを4回実施する。</li> <li>・イベントで回収されたプラスチック製品の量や品物の種類について調査分析を行い、令和6年度以降の回収方法や周知方法について検討する。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
可燃ごみの排出量(家庭系・事業系合計)(t/年)	5,700	5,904	5,890				97%
容器包装プラスチック回収量(拠点・ステーション合計)(t/年)	60	58	68				113%

基本目標	4	3
------	---	---

分野	環境・社会基盤
基本目標	「環境に配慮したしくみ」をつくる

担当課	環境課
-----	-----

各施策展開

施策 3 人と環境にやさしく思いやりのあるまちづくりの推進

令和4年度実績 (Do)
<p><b>まち美化パートナー事業</b></p> <p>・「自分たちの地域は自分たちできれいにする」美化活動の支援のため、「まち美化パートナー」として公共の道路・公園等を清掃する団体に活動資材の提供を行った。</p>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <p>・自主的な美化活動を推進するため、自らの地域を地域の力できれいにすると理念のもと、団体数、登録者数とも少しずつ増えているが、コロナ禍で地域コミュニティの積極的な活動ができなかったことも影響していると考えます。</p>
<p><b>改善点</b></p> <p>・美しい環境を守り、持続可能な社会にしていくなには、時間がかかるが、町民一人一人が少しずつでも環境に興味を持ち、それぞれのできる方法で行動してもらうことが施策目標の達成に繋がることから、更なる町民への積極的な呼び掛けや普及啓発の工夫に努める必要がある。</p>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>まち美化パートナー事業</b></p> <p>・広報、町HPでの周知のほか、資源回収イベントなどの町民と直接かかわる機会にパートナー制度の周知を行う。</p> <p>・地域で美化活動を行っている町民や事業所、学校や保育園等で児童生徒・保護者が実施する美化活動に対して支援ができるように、パートナー参加への呼びかけを行う。</p> <p><b>自然環境基礎調査</b></p> <p>・自然環境基礎調査は、令和6年度に着手し令和7年度に完了する予定である。</p>

SDGsターゲットの具体化
<p><b>11 包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</b></p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
まち美化パートナーの登録数 (団体・人)	25 1,500	21 771	24 887				
自然環境基礎調査	実施	未実施	未実施				

地域経営計画体系

基本目標	5	1
------	---	---

分野	安全・安心
基本目標	災害から「生命」を守る

担当課	地域安全課
-----	-------

各施策展開

施策 1 町の防災体制強化と意識の高揚

令和4年度実績 (Do)
<p><b>マイ・タイムライン作成事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災教育の一環として、小学5年生と中学1年生を対象に、町内在住の防災士の協力によりマイ・タイムライン作成講座を各学校で開催した。</li> </ul> <p><b>防災訓練実施事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響を鑑み、住民向けの災害対応訓練は中止し、職員を対象に実施（防災行政無線のデジタル化後の避難所用連絡設備の運用方法の再確認や防災拠点避難所での防災備蓄食料の再確認等）した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講対象としている小学5年生と中学1年生の全学年を対象に、マイ・タイムライン作成講座を開催し、児童生徒一人一人の防災意識を高めることにつながった。</li> <li>・防災訓練の実施により、職員と組織の「防災意識の向上」、「災害時の対応能力の向上」につながった。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校での授業の内容等を、各家庭において防災意識を高めるためのきっかけとなるような働きかけを行い、各家庭内での防災力を向上させる必要がある。</li> <li>・災害発生時に迅速に対応できるよう、住民を対象とした防災訓練を行っていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>マイ・タイムライン作成事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災教育の一環として、小学5年生と中学1年生を対象に、マイ・タイムライン作成講座を継続していく。講座では、自身のタイムライン作成だけでなく、各家庭で逃げ遅れないためにやるべきことを確認しておく「我が家のタイムライン」の作成について紹介し、防災意識の向上を図っていく。</li> </ul> <p><b>防災訓練実施事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民向けの災害対応訓練を実施し、互いに協力し合いながら、防災活動に組織的に取り組むことが必要であることを再認識してもらい、防災意識の高揚を図っていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
マイ・タイムライン受講者数(延べ) (人)	3,370	1,440	1,931				57%

施策 2 地域防災力の向上

令和4年度実績 (Do)
<p><b>地区防災計画策定事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一定の地域に住んでいる人たちが、自分たちの地域の人命、財産を守るための助け合い（共助）について、自発的な防災活動計画を策定することを促すため、その一つ的手段として自主防災組織届出書の提出や自主防災組織活動支援補助事業の周知を行った。</li> </ul> <p><b>自主防災組織育成支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災力向上のため、自主防災組織5団体に対して、資機材の購入費等の補助を実施した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、地域で集まる機会が少なかったが、補助金を活用した団体は、訓練を行い、地区防災計画策定に取り組む意識の醸成につながった。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災計画策定に向けて動いている団体もあるため、既に計画策定した団体の資料の提供や、団体同士の連携等が行えるようなつながりが持てるような仕組み作りが必要である。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>地区防災計画策定事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの規制が緩和されることにより、地域での活動等も活発になることが予想されるため、引き続き自主防災組織活動支援補助事業を活用し、計画策定につなげるための団体同士の連携等が行えるような仕組み作りを検討していく。</li> </ul> <p><b>自主防災組織育成支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の防災力向上とリーダー育成のため、防災士資格を取得するための補助や、自主防災組織が活動するための資機材の購入費等の補助を実施する。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
地区防災計画策定数(地区)	11	1	1				9%

基本目標	5	1
------	---	---

分野	安全・安心
基本目標	災害から「生命」を守る

担当課	地域安全課
-----	-------

各施策展開

施策 3 災害時の活動体制の強化

令和4年度実績 (Do)	担当課長評価 (Check・Act)	令和5年度計画 (Plan)
<p><b>災害時の活動体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害から地域住民の命を守るため、拠点避難所の非常用食料等を更新した。また、阿久津小学校の屋外に防災倉庫を設置した。</li> <li>・火災や自然災害等から地域を守るため、消防団第2分団のポンプ自動車を更新した。</li> <li>・各種防災関係説明会等で防災・防犯メールの必要性について説明し、令和3年度と比較して登録者数が77人増加した。</li> </ul>	<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の活動体制を強化するため、計画的な備品等の整備に努めた。</li> <li>・災害時応援協定の締結に向け情報収集等を行ったが、新規締結には至らなかった。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の応援協定の締結数については現状の協定の内容等を精査し、有事の際に必要と思われる内容を把握し、企業等へのアプローチを行う必要がある。</li> <li>・防災・防犯メールの登録者の増加に向け、町のイベント等で周知するなどの方法を考える必要がある。</li> </ul>	<p><b>災害時の活動体制の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について協力を得るため、特に必要と思われる内容を把握し、対象企業等のピックアップを行う。</li> <li>・防災情報を迅速に伝達するため、効果的な周知方法を検討し、防災・防犯メールの登録の増加を図る。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標	
	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
災害時応援協定の締結数（件）	38	28	28				74%
防災・防犯メールの登録者数（人）	3,300	2,508	2,585				78%

基本目標	5	2
------	---	---

分野	安全・安心
基本目標	「安全に暮らせるまち」をつくる

担当課	地域安全課
	産業課

各施策展開

施策 1 地域防犯体制の強化

令和4年度実績 (Do)
<b>地域防犯体制の強化事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の自主的な防犯組織を育成し犯罪を抑制するため、地域防犯団体を支援し、地域安全運動の推進に努めた。</li> <li>各種防災関係説明会等で防災・防犯メールの必要性について説明し、令和3年度と比較して登録者数が77人増加した。</li> <li>高齢者がオレオレ詐欺やアポ電話等の特殊詐欺の被害に遭わないように、対策機器購入費の助成をした。(令和4年度18件)</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域安全運動については、周知啓発活動や地域防犯団体の活動を支援するなど、コロナ禍による制限がある中で取組みを進めることができた。</li> <li>防災・防犯メールの登録推進、特殊詐欺等被害防止対策機器の設置補助などの防犯対策を推進した。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>防災・防犯メールの登録や特殊詐欺等被害防止対策機器の設置補助について、町のイベント等で周知するなどの方法を考える必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>地域防犯体制の強化事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防犯団体の活動を支援し、地域安全活動を推進する。</li> <li>身近な犯罪から身を守るため、防災・防犯メールへの登録や特殊詐欺等被害防止対策機器の設置について、町広報紙・ホームページ以外の周知方法を検討し効果的に行う。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
防災・防犯メールの登録者数(人)(再掲)	3,300	2,508	2,585				78%

施策 2 交通安全対策の充実

令和4年度実績 (Do)
<b>交通安全意識醸成事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者運転免許証の自主返納者を支援するため、町内在住の65歳以上で、失効前の運転免許を自主返納(自主返納してから1年以内は有効)した方を対象に、デマンド交通「たんたん号」の乗車回数券(3千円分)を交付する事業を実施した。(令和4年度29件)</li> <li>高齢者の交通事故を防止するため、町内在住の70歳以上で、自家用車に国土交通省認定の後付け急発進等抑制装置を購入(購入してから3か月以内に申請)した方を対象に、設置費込み購入費用の2分の1(上限2万円)を助成する事業を実施した。(令和4年度0件)</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>運転免許証の自主返納については、令和3年度と比較し11件減少し、発進等抑制装置設置補助の申請は無かったが、概ね目標値を達成した。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>町HP等で事業の周知を行っているが、町のイベント等で周知するなど、本事業のターゲット層への更なる周知方法を考える必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>交通安全意識醸成事業</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の交通事故防止を図るため、引き続き、高齢者運転免許証自主返納者支援事業及び後付け急発進等抑制装置設置補助事業を継続する。また、事業対象者が参加するイベント等でチラシ配付を行い、事業の周知拡大に努める。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
運転免許証自主返納者数・後付け急発進等抑制装置設置の支援数(合算数)(件/年)	30	41	29				97%

基本目標	5	2
------	---	---

分野	安全・安心
基本目標	「安全に暮らせるまち」をつくる

担当課	地域安全課
	産業課

各施策展開

施策 3 安心安全な消費生活の実現

令和4年度実績 (Do)
<b>消費生活センター相談員のスキルアップ</b>
・年々消費者トラブルは複雑化し、相談件数は増加傾向にある。そのため、対処するには相談員のスキルアップが必須である。令和4年度は研修に16回参加し、知識の向上に努めた。
<b>消費生活出前講座の実施</b>
・本町の消費者トラブルを減らすべく、要望があった時に相談員が出向いて消費者トラブルについての無料講座を行う「出張出前講座」を実施した。各地域で開催している高齢者を対象にしたサロンから依頼が多く、ノベルティの配布を行い日頃から気を付けてもらえるよう啓発をした。4回開催し、のべ55名が聴講した。

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
・消費生活センター相談員のスキルは、研修に参加することで確実に向上しており、消費者相談134件に適切に対応できた。
消費生活出前講座は、新型コロナの影響で実施回数は伸び悩んだが、ノベルティを配付することで被害の未然防止・拡大防止の啓発を行うことができた。
<b>改善点</b>
・消費者相談の占める割合の高い60代以上の消費者トラブルを防ぐため、消費生活センターの周知や出張出前講座の利用を図る手法を検討し、消費者トラブル等の情報提供及び啓発を行う機会を増やし、被害の未然防止・拡大防止につなげていく必要がある。

令和5年度計画 (Plan)
<b>消費生活出前講座の実施</b>
・本町の消費者トラブルを減らすため、出前講座の周知に努め、地域での開催を積極的に行う。
<b>啓発活動の実施</b>
・直近で多発している消費者トラブルや悪質商法の情報提供及び啓発や、ノベルティ配布による消費生活センターの周知や啓発を行う。

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
消費生活出前講座の実施回数 (オンライン開催含む) (件/年)	20	3	4				20%

地域経営計画体系

基本目標	6	1
------	---	---

分野	マネジメント
基本目標	「持続可能な行政経営」を実現する

担当課	総務課・企画課
	住民課

各施策展開

施策 1 将来にわたる財政健全性の確保

令和4年度実績 (Do)
<b>財政健全性の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質公債費比率や将来負担比率を注視しながら、適正な範囲での地方債の発行に取り組んだ。</li> <li>・過度な将来負担が生じないよう新庁舎の整備や中学校の改修工事を見据え、基金の涵養に取り組んだ。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質公債費比率や将来負担比率を考慮しながら、地方債を適正に活用し、健全性を確保しながら財政運営が図られた。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、新庁舎整備や中学校の改修工事などの大規模な事業を控えているため、実質公債費比率の悪化が懸念されることから、引き続き地方債の適正な発行や基金の涵養に取り組む必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>財政健全性の確保</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実質公債費比率や将来負担比率に注視しながら引き続き適正な地方債の発行に取り組むことで実質公債費比率の維持に努めていく。</li> <li>・将来の大規模工事に備えた基金の涵養や歳出の圧縮に取り組むことで財政基盤の確保に努めていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗

施策 2 行政資源の適正配分と職員の育成

令和4年度実績 (Do)
<b>職員研修</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務研修として栃木県市町村課へ1名、矢板土木事務所へ1名の職員を派遣した。</li> <li>・民間企業における接遇やSDGs等の取組を学ぶため、実務研修として栃木銀行へ2名の職員を派遣した。</li> <li>・専門分野での知識向上を目的として市町村アカデミー研修へ1名の職員を参加させた。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<b>全体評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他団体派遣研修については、派遣先で学んだ知識・経験を活かして、自身の業務の事務改善に取り組むなど、成果を発揮している。また、市町村アカデミー研修では自身の担当業務について、より専門的な知識を習得することに寄与している。</li> </ul>
<b>改善点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村アカデミー研修では参加する所属が固定化している。より多くの職員が受講機会を得られるよう、単なる研修情報の提供に終始せず、受講しやすい環境を醸成するためにフォローアップしていく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<b>職員研修</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他団体派遣研修については、栃木県及び栃木銀行における実務研修を継続していく。</li> <li>・市町村アカデミー研修では、より多くの職員が参加機会を得られるよう、研修情報の発信を頻繁に行う。また、所属長に対し部下職員を積極的に研修へ参加させるよう呼びかけることで、組織として人材育成に取り組む風土を醸成していく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 持続可能な生産消費形態を確保する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
他団体派遣研修及び市町村アカデミー研修の参加人数 (人/年)	5	4	5				100%

基本目標	6	1
------	---	---

分野	マネジメント
基本目標	「持続可能な行政経営」を実現する

担当課	総務課・企画課
	住民課

各施策展開

施策 3 行政運営（事務・手続き）におけるデジタル化の推進

令和4年度実績（Do）
<p><b>新文書管理システム構築事業</b></p> <p>・平成30年1月から運用していた文書管理システムの更新時期に合わせて、文書保存場所の省スペース化、紙文書量の削減、より一層の適正な文書管理の推進及び事務効率の向上を目的として、操作研修及び運用検討を並行して実施しながら、電子決裁機能を有する文書管理システムを構築し、令和4年12月26日から運用を開始した。</p> <p>操作習得期間等を考慮し、電子決裁は段階的な導入（当面は課長決裁までの文書が対象）としたが、同日から年度末までの仮運用期間中（約3か月間）における電子的処理の割合は、收受で65%、起案等で56%であった。</p>

担当課長評価（Check・Act）
<p><b>全体評価</b></p> <p>・仮運用期間中でも電子的処理の割合が50%以上であったことを踏まえると、電子決裁機能を有する文書管理システムの導入を契機として、公文書管理のデジタル化に対する職員の意識向上にも寄与した。</p>
<p><b>改善点</b></p> <p>・電子決裁の導入目的を達成するため、町長、副町長及び教育長による決裁文書についても電子決裁とし、全庁的な電子決裁率を高めるとともに、さらなるペーパーレス化に努める必要がある。</p>

令和5年度計画（Plan）
<p><b>文書管理事務</b></p> <p>・システム操作及び運用に係る研修等の実施を通して、文書管理及び電子決裁に対する職員の意識を更に高めるとともに、町長、副町長及び教育長を含めた決裁権者（非常勤の特別職を除く。）にディスプレイを配備して決裁の視認性を高めることで、全庁的な電子決裁を推進し、事務の効率化と経費の削減に努めていく。</p>

SDGs 中心となるゴール目標
<p>17  持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
電子決裁の導入	導入	未導入	導入				

施策 4 マイナンバーカードの普及促進

令和4年度実績（Do）
<p><b>コンビニ交付事業</b></p> <p>・マイナンバーカードを普及するため、週2回の窓口延長業務及び休日交付窓口の開設を行った他、町内商業施設等で申請サポート窓口を開設した。また、マイナンバーカードを交付する際には、コンビニで住民票・印鑑証明書等を取得できることをお知らせするチラシを配布し、コンビニ交付の周知に努めた。</p>

担当課長評価（Check・Act）
<p><b>全体評価</b></p> <p>・マイナンバーカードの取得を推進し、交付率が前年度に比べ23.7%上昇したことにより、コンビニ利用率が5.8%向上した。</p>
<p><b>改善点</b></p> <p>・コンビニ交付の認知度向上のため、マイナンバーカードがあれば、出張先で急に証明書が必要となった際でも全国のコンビニで証明書が取得できることを周知し、より広く普及啓発に努める必要がある。</p>

令和5年度計画（Plan）
<p><b>マイナンバーカード申請支援事業</b></p> <p>・マイナンバーカードの更なる取得向上を目指し、町内の郵便局において、マイナンバーカード申請支援を実施する。</p> <p>・マイナンバーカード交付時にコンビニ交付に関するチラシ配付を継続するとともに、コンビニ交付の利用方法について窓口にポスターを掲示するなど、マイナンバーを利用したコンビニ交付の普及啓発に努めていく。</p>

SDGsターゲットの具体化
<p>17  持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
マイナンバーカードを利用したコンビニ交付割合（住民票・印鑑証明・税証明）（%） ※R3.10月から税証明が追加	40	16.0	21.8				55%

基本目標	6	1
------	---	---

分野	マネジメント
基本目標	「持続可能な行政経営」を実現する

担当課	総務課・企画課
	住民課

各施策展開

施策 5 地域コミュニティの支援

令和4年度実績 (Do)	担当課長評価 (Check・Act)	令和5年度計画 (Plan)
<p><b>自治会活動支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町自治会連合会の運営及び活動を支援するとともに、研修その他事業の実施に要する経費を補助することにより、自治会の活性化を図った。</li> </ul> <p><b>一般コミュニティ助成事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一財)自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用して、令和4年度においては、桑窪行政区に対し、地域のお祭りとお囃子活動で使用する太鼓の購入に係る助成を行った。また、令和5年度の助成対象事業として、東町北区自治会の申請を支援し、令和5年3月に(一財)自治総合センターに採択された。</li> </ul>	<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町自治会連合会及び自治会の活動の側面的支援により、コロナ禍においても地域コミュニティ活動の活性化を図ることができた。しかし、自治会加入率は低下し続けている状況にあり、どのように住民の自治意識を向上させ、地域コミュニティを活性化させるかが課題である。</li> </ul> <p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ形成の中核である自治会の活動支援(側面的支援)の在り方及びその内容について、効果検証等を通して、最適化を図る必要がある。</li> </ul>	<p><b>自治会活動支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町自治会連合会及び自治会に対するこれまでの取組の効果検証を行うとともに、側面的支援を継続して行う。</li> </ul> <p><b>一般コミュニティ助成事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度においては、東町北区自治会の事業が採択されたので、同会による備品等整備を支援する。</li> </ul> <p><b>集会施設整備事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの活性化を図るため、地域の活動拠点である集会施設の改修に係る助成を行う。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標	
	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI	成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗

基本目標	6	2
------	---	---

分野	マネジメント
基本目標	「公共施設のマネジメント」を推進する

担当課	新庁舎整備課
-----	--------

各施策展開

施策 1 公共施設マネジメントの推進

令和4年度実績 (Do)
<p><b>公共施設個別施設計画策定事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営住宅及び学校教育施設の個別施設計画は既に策定済みであるが、それ以外の公共施設については、新庁舎整備に併せて複合化や集約化する施設が不確定であることから、複合化や集約化する施設が定まるまで、個別施設計画の策定は見送ることとした。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎整備に併せて複合化や集約化する施設を定めるにあたっては、新庁舎の建設場所及び整備費用等を含めて検討する必要がある。</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別施設計画策定にあたっての統一的な考え方（ルール）を事前に検討しておく必要がある。</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>公共施設個別施設計画策定事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度に新庁舎整備基本計画を策定予定であり、その過程の中で複合化や集約化する公共施設が定まることから、令和6年度の個別施設計画策定を目指して、施設を所管する担当部署等と連携を図るなど、全庁的な検討体制の構築に向けた取組を進めていく。</li> </ul>

SDGs 中心となるゴール目標
 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
公共施設等総合管理計画個別計画の策定	策定	未策定	未策定				

施策 2 町有資産の適正管理

令和4年度実績 (Do)
<p><b>新庁舎整備基本構想策定事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年10月に学識経験者、町関連団体及び町民等で組織する新庁舎整備検討委員会（以下「委員会」という。）を設置し、委員会へ新庁舎整備基本構想（以下「基本構想」という。）の策定に関する事項等について諮問した。</li> <li>・委員会では、令和3年10月から令和5年1月にかけて計8回の会議が開催され、令和5年1月26日に町長へ基本構想に関する答申が行われた。</li> <li>・令和5年2月に基本構想（案）のパブリックコメントを実施し、3月に基本構想を策定した。</li> </ul>

担当課長評価 (Check・Act)
<p><b>全体評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会では、幅広い見地から基本構想に関する協議・検討が行われた。</li> <li>・基本構想には、今後の新庁舎の整備等に係る考え方の方向性を示した。</li> </ul>
<p><b>改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特記する事項なし</li> </ul>

令和5年度計画 (Plan)
<p><b>新庁舎整備基本計画策定事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想で整理した整備の方向性をより具現化するため、令和5年度の新庁舎整備基本計画の策定に向け、協議・検討を行っていく。</li> </ul>

SDGsターゲットの具体化
 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

KPI 成果目標	目標	R3	R4	R5	R6	R7	進捗
役場新庁舎整備基本構想の策定	策定	—	策定				



